

2025年度
大阪府保険医協会
会員意見調査報告書

2025年8月実施



2025年度
大阪府保険医協会
会員意見調査報告書

発行日 2026年2月

発行者 大阪府保険医協会
〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-2-20 清光ビル4階401
TEL 06-6568-7721 FAX 06-6568-2389

2026年2月
大阪府保険医協会

発刊にあたって

2025年8月に実施しました会員意見調査の集計が終わり、調査報告書を刊行する運びとなりました。日常診療でお忙しい中、詳細な調査にご協力いただきました、大阪府保険医協会会員の先生方に対し、厚く御礼申し上げます。

今回は2004年度以来、21年ぶりの実施となりました。久しぶりの調査でしたが、回答数861件、回収率18%と多数のご協力をいただきました。医療機関を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、会員の先生方が抱える課題や医療機関の実状が厳しさを増していることが伺える調査となりました。

各分野別の調査結果を参考にして、これからの協会活動に役立てていきたいと存じます。また、今後も定期的に会員意見調査を実施し、経時的な変化も捉えられるような調査にしていきたいと考えております。調査を実施する際は、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様方のご協力に感謝し、心から御礼申し上げます。

2026年2月

大阪府保険医協会 政策調査部長

齊藤 和則

目次

発刊にあたって	1
会員意見調査概要	3
1. 先生ご自身と院所	4
2. 日常診療	12
3. 在宅医療・介護保険事業	18
4. 院所経営と税務の現状	20
5. 従業員の状況	23
6. 審査・指導問題	26
7. 医薬品問題	27
8. 医療保険制度、社会保障費	28
9. 診療報酬改定	30
10. 医療DX	30
11. 保険医協会の共済制度について	31
12. 保険医協会の諸事業について	33
13. 政党支持について	36
付録1 (調査票)	37
付録2 (集計表)	45

2025年度会員意見調査概要

■調査の目的

今回の調査は前回の2004年以来21年ぶり、2025年8月時点の調査である。調査目的として、①従来調査の定点観測（開業年数や院所形態、患者数、労働時間、医院経営をはじめとした基本的な項目）、②医療機関を取り巻く諸問題に対する会員の動向や意識、課題の把握、③保険医協会の諸事業に対する評価、要望を中心に、従来の調査項目を基本としつつ、現在の状況を踏まえた調査項目にアップデートし実施した。

■調査方法、集計

調査は正会員（病院を除く）4778件に、2025年8月上旬に調査票を郵送し、8月末を締切りとして行った。回答は無記名で、紙調査票の返送又はWEB回答を併用して実施。有効回答数は861件で、回収率18.0%であった。紙調査票による回答が498件（57.8%）、WEB回答が363件（42.2%）の結果となった。

調査票の集計については、（株）関西共同印刷に委託し、各項目の単純集計、年齢別・診療科目別のクロス集計を基本とし、そのデータに基づき総合分析、評価を行った。

■調査結果の概要について

次頁以降、13の項目（①先生ご自身と院所、②日常診療、③在宅医療・介護保険事業、④院所経営と税務の現状、⑤従業員の状況、⑥審査・指導問題、⑦医薬品問題、⑧医療保険制度、社会保障費、⑨診療報酬改定、⑩医療DX、⑪保険医協会の共済制度、⑫保険医協会の諸事業、⑬政党支持）に分けて、調査結果の特徴や分析結果を記述している。

一部記述において、前回の調査結果と比較している箇所もあるが、2004年度の調査結果との比較となる。

年齢別のクロス集計について、調査項目に年齢として「20代～80代以上」までの年代別の選択肢を設け、選択した年代と各項目のクロス集計を行い、集計表を掲載している。なお、調査実施の2025年8月時点において「20代」の会員はおらず、回答もゼロであった為、年齢別集計表の表記も省略している。

診療科目別のクロス集計について、調査項目に「主な診療科目（一つのみ）」の選択肢を設け、選択した診療科目と各項目のクロス集計を行い、集計表を掲載している。

主要項目について記述しているため、一部省略している項目もあるが、巻末に全項目の集計結果を掲載しているため参照されたい。

(1) 先生ご自身と院所

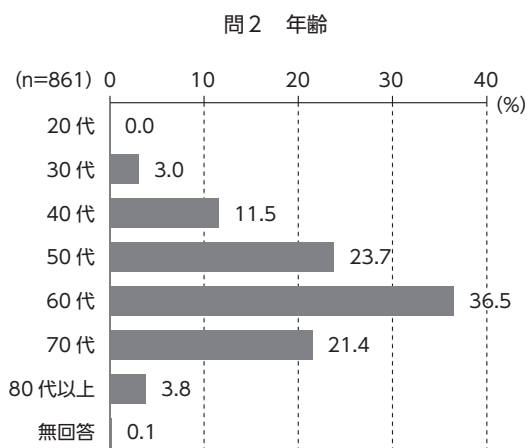
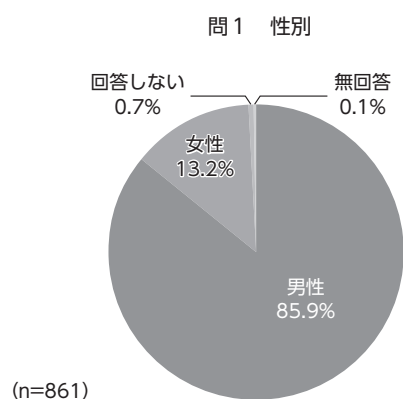
●回答者の傾向

①性別、年齢

性別では男性740件で85.9%、女性114件で13.2%、正会員の男女比（男性86.9%、女性13.1%）とほぼ同様の値であり、男女差による会内の意見の偏りと同等の意見構成になると思われる。

年齢では30代3.0%、40代11.5%、50代23.7%、60代36.5%、70代21.4%、80代以上3.8%となっている。正会員の年齢分布とほぼ同様の傾向で、年齢による会内の意見の偏りと同等の意見構成になると思われる。

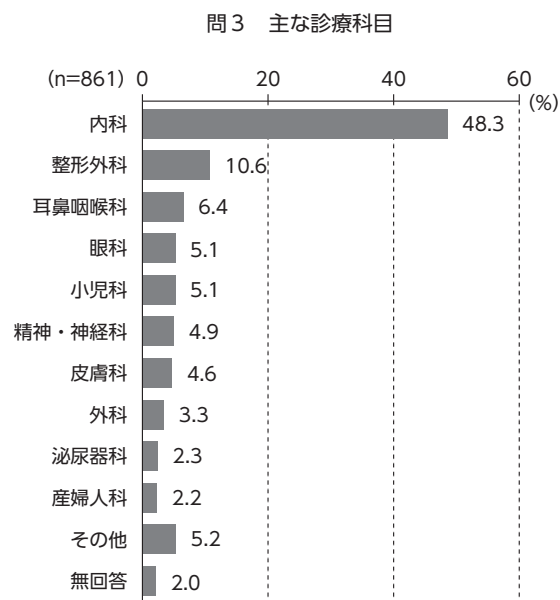
性別と年齢のクロス集計では、40代女性が23%となっているが、30代女性会員からの回答が無い。会員の男女比・構成比では、30代女性は約8%であるため、この年齢層の女性会員の意見の反映が弱い傾向となる。



②診療科目

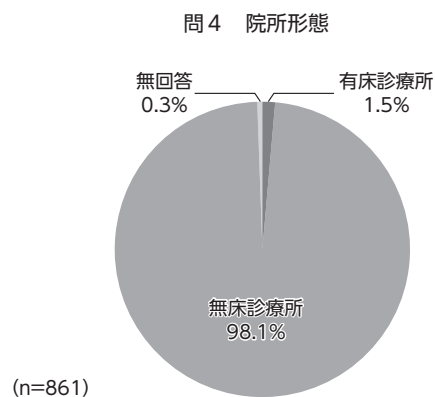
主な診療科では、内科48.3%、整形外科10.6%、耳鼻咽喉科6.4%、眼科と小児科5.1%、精神・神経科4.9%、皮膚科4.6%、泌尿器科2.3%等となっている。正会員の主な診療科の分布と比較して概ね誤差の範囲に収まっており、会内の診療科目ごとの意見の偏りを反映した意見構成になると思われる。なお、小児科から

の回答割合が多少会員構成と比べて多い傾向がある。



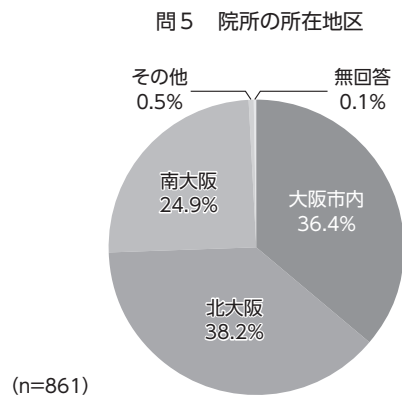
③院所形態

院所形態については無床診療所がほぼ全てであり、有床診療所が減少している現状を反映している。



④所在地

所在地については大阪市内36.4%となっている。本設問で都市部と郊外との比較は困難なため、参考に留めたいが、年齢とのクロス集計においても、一定地域に高齢化が集中している傾向は読み取れない。80歳以上の医療機関においては既に継承者と共同診療している事例も含む。



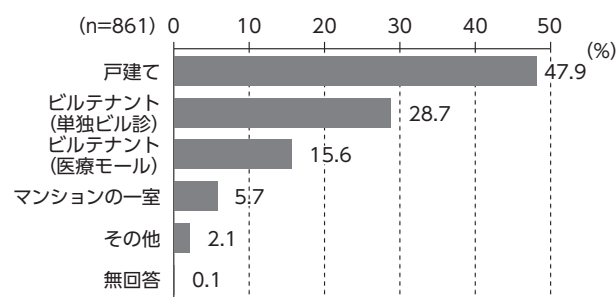
⑤ 院所の建物

院所の建物については、「戸建て」が47.9%、「ビルテナント」が44.3%と拮抗しており、2004年調査の戸建て（59.0%）・ビルテナント（22.0%）の比率と比べて大きく変わっている。またテナントの内訳として「医療モール」をみると、今回は15.6%となっており、前回調査の医療ビルの一室の4.2%と比較しても隔世の感がある。

年齢でのクロス集計では、若い世代で医療モールでの新規開業の傾向が高く、戸建て開業の年齢は高齢医師において圧倒的に高い。但し前述の通り、親子の継承開業などの場合は、若い開業医が戸建てになることも想定される。純然たる新規開業における戸建ての割合は恐らく相当下がっていると思われる。

診療科とのクロス集計では、精神科の単独ビル診療の傾向が高い、皮膚科、泌尿器科の医療モール開業の比率が高いなどの傾向がある。マンションの一室での在宅医療機関の開業などの傾向は、診療科などで分析することはできない。

問6 院所の建物



問6 院所の建物

	合計 (件)	院所の建物					無回答
		戸建て	ビルテナント (単独ビル診)	ビルテナント (医療モール)	マンションの一室	その他	
全体	861 100.0	412 47.9	247 28.7	134 15.6	49 5.7	18 2.1	1 0.1
30代	26 100.0	6 23.1	9 34.6	8 30.8	3 11.5	0 0.0	0 0.0
40代	99 100.0	38 38.4	34 34.3	19 19.2	5 5.1	3 3.0	0 0.0
50代	204 100.0	84 41.2	59 28.9	48 23.5	10 4.9	3 1.5	0 0.0
60代	314 100.0	158 50.3	93 29.6	38 12.1	17 5.4	7 2.2	1 0.3
70代	184 100.0	100 54.3	48 26.1	20 10.9	13 7.1	3 1.6	0 0.0
80代以上	33 100.0	26 78.8	4 12.1	0 0.0	1 3.0	2 6.1	0 0.0
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

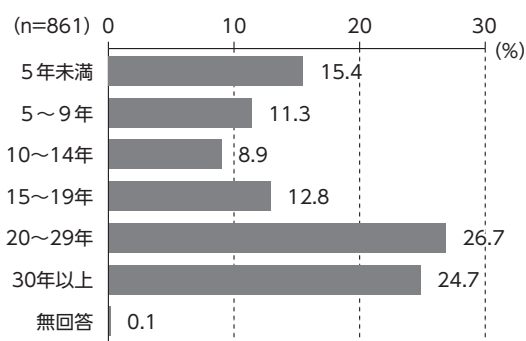
問6 院所の建物

	合計 (件)	院所の建物					無回答
		戸建て	ビルテナント (単独ビル診)	ビルテナント (医療モール)	マンションの一室	その他	
全体	861 100.0	412 47.9	247 28.7	134 15.6	49 5.7	18 2.1	1 0.1
内科	416 100.0	240 57.7	103 24.8	41 9.9	25 6.0	7 1.7	0 0.0
精神・神経科	42 100.0	5 11.9	24 57.1	11 26.2	2 4.8	0 0.0	0 0.0
小児科	44 100.0	19 43.2	13 29.5	9 20.5	2 4.5	0 0.0	1 2.3
外科	28 100.0	17 60.7	6 21.4	3 10.7	2 7.1	0 0.0	0 0.0
整形外科	91 100.0	36 39.6	21 23.1	21 23.1	8 8.8	5 5.5	0 0.0
皮膚科	40 100.0	10 25.0	14 35.0	14 35.0	2 5.0	0 0.0	0 0.0
泌尿器科	20 100.0	5 25.0	6 30.0	7 35.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	12 63.2	5 26.3	1 5.3	0 0.0	1 5.3	0 0.0
眼科	44 100.0	18 40.9	13 29.5	6 13.6	5 11.4	2 4.5	0 0.0
耳鼻咽喉科	55 100.0	24 43.6	18 32.7	11 20.0	0 0.0	2 3.6	0 0.0
その他	45 100.0	17 37.8	20 44.4	6 13.3	1 2.2	1 2.2	0 0.0
無回答	17 100.0	9 52.9	4 23.5	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0

⑥開業年数

開業年数は「5年未満」が15.4%、「20年～29年未満」が26.7%、「30年以上」が24.7%となっている。会員の開業年数の分布とほぼ同様の傾向であり、開業年数による会内の意見の偏りと同等の意見構成になると思われる。また、診療科とのクロス集計では、開業5年未満の割合は精神科と小児科において多く、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科において少なかった。

問7 開業年数



問7 開業年数

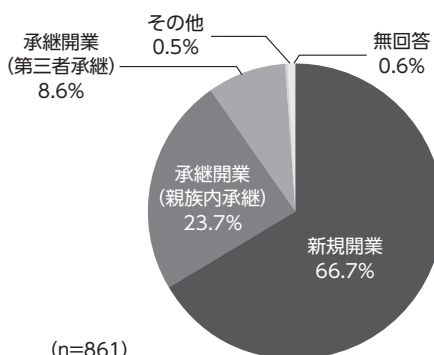
主な診療科目別	合計 (件)		開業年数						
	件数	割合 (%)	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～29年	30年以上	無回答
全体	861	100.0	133	97	77	110	230	213	1
			15.4	11.3	8.9	12.8	26.7	24.7	0.1
内科	416	100.0	58	44	40	60	99	115	0
			13.9	10.6	9.6	14.4	23.8	27.6	0.0
精神・神経科	42	100.0	12	3	10	4	10	3	0
			28.6	7.1	23.8	9.5	23.8	7.1	0.0
小児科	44	100.0	11	7	5	4	11	5	1
			25.0	15.9	11.4	9.1	25.0	11.4	2.3
外科	28	100.0	4	3	3	3	7	8	0
			14.3	10.7	10.7	10.7	25.0	28.6	0.0
整形外科	91	100.0	14	15	6	10	30	16	0
			15.4	16.5	6.6	11.0	33.0	17.6	0.0
皮膚科	40	100.0	4	3	4	7	12	10	0
			10.0	7.5	10.0	17.5	30.0	25.0	0.0
泌尿器科	20	100.0	2	4	2	0	7	5	0
			10.0	20.0	10.0	0.0	35.0	25.0	0.0
産婦人科	19	100.0	2	1	0	4	6	6	0
			10.5	5.3	0.0	21.1	31.6	31.6	0.0
眼科	44	100.0	4	5	3	5	16	11	0
			9.1	11.4	6.8	11.4	36.4	25.0	0.0
耳鼻咽喉科	55	100.0	9	5	1	7	18	15	0
			16.4	9.1	1.8	12.7	32.7	27.3	0.0
その他	45	100.0	13	7	3	5	7	10	0
			28.9	15.6	6.7	11.1	15.6	22.2	0.0
無回答	17	100.0	0	0	0	1	7	9	0
			0.0	0.0	0.0	5.9	41.2	52.9	0.0

⑦開業の形態

開業の形態については「新規開業」が66.7%、「親族内承継」が23.7%、「第三者承継」が8.6%となっている。年齢とのクロス集計では、30代の回答で、「新規開業」が65.4%、「親族内承継」が19.2%、「第三者承継」が15.4%となり、80代以上の回答では、「新規開業」が75.8%、「親族内承継」が15.2%、「第三者承継」が6.1%となっており、開業トレンドの変化が読み取れる。

「新規開業」が66.7%、「親族内承継」が23.7%、「第三者承継」が8.6%となっている。年齢とのクロス集計では、30代の回答で、「新規開業」が65.4%、「親族内承継」が19.2%、「第三者承継」が15.4%となり、80代以上の回答では、「新規開業」が75.8%、「親族内承継」が15.2%、「第三者承継」が6.1%となっており、開業トレンドの変化が読み取れる。

問8 診療所を開業した際は「新規開業」でしたか、それとも「承継開業」でしたか



問8 診療所を開業した際は「新規開業」でしたか、それとも「承継開業」でしたか

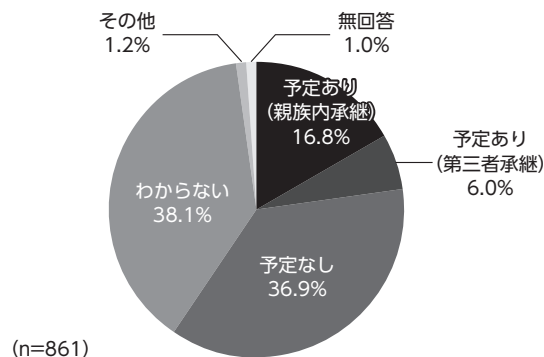
年齢別	合計 (件)		開業形態			その他	無回答
	件数	割合 (%)	新規開業	承継開業 (親族内承継)	承継開業 (第三者承継)		
全体	861	100.0	574	204	74	4	5
			66.7	23.7	8.6	0.5	0.6
30代	26	100.0	17	5	4	0	0
			65.4	19.2	15.4	0.0	0.0
40代	99	100.0	60	24	13	1	1
			60.6	24.2	13.1	1.0	1.0
50代	204	100.0	129	55	20	0	0
			63.2	27.0	9.8	0.0	0.0
60代	314	100.0	208	83	20	1	2
			66.2	26.4	6.4	0.3	0.6
70代	184	100.0	134	32	15	1	2
			72.8	17.4	8.2	0.5	1.1
80代以上	33	100.0	25	5	2	1	0
			75.8	15.2	6.1	3.0	0.0
無回答	1	100.0	1	0	0	0	0
			100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

⑧診療所の承継予定

今後、診療所を承継する予定については、「予定あり」が22.8%、「予定なし」が36.9%、「わからない」が38.1%だった。年齢でクロス集計すると、30代、40代では「予定なし」、50代、60代では「わからない」、70代、80代では「予定あり」が多数となっている。また、80代では33.3%が「親族承継の予定あり」となっており、既に親族との共同診療している事例や承継まで何とか診療を続ける事例が含まれると考えられる。

更に診療科とのクロス集計では、皮膚科、泌尿器科などで「予定なし」が目立つ。産婦人科では「予定あり」が目立つ。

問9 今後、診療所を承継する予定



問9 今後、診療所を承継する予定はありますか

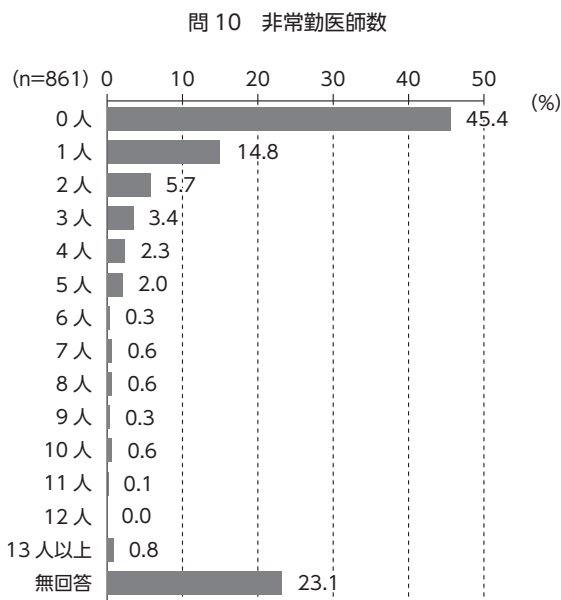
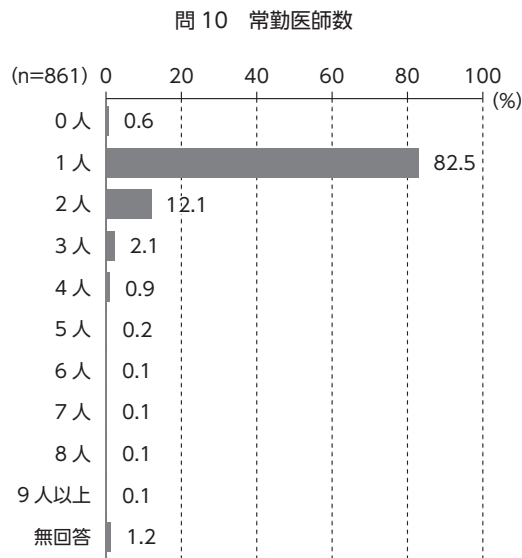
	合計 (件)	予定あり (親族内承継)	予定あり (第三者承継)	予定なし	わからない	その他	無回答
全体	861 100.0	144 16.8	52 6.0	318 36.9	328 38.1	10 1.2	9 1.0
年齢別							
30代	26 100.0	0 0.0	0 0.0	17 65.4	9 34.6	0 0.0	0 0.0
40代	99 100.0	7 7.1	3 3.0	50 50.5	36 36.4	1 1.0	2 2.0
50代	204 100.0	16 7.8	9 4.4	79 38.7	98 48.0	1 0.5	1 0.5
60代	314 100.0	57 18.2	20 6.4	106 33.8	128 40.8	2 0.6	1 0.3
70代	184 100.0	53 28.8	16 8.7	56 30.4	51 27.7	4 2.2	4 2.2
80代以上	33 100.0	11 33.3	4 12.1	9 27.3	6 18.2	2 6.1	1 3.0
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9 今後、診療所を承継する予定はありますか

	合計 (件)	予定あり (親族内承継)	予定あり (第三者承継)	予定なし	わからない	その他	無回答
全体	861 100.0	144 16.8	52 6.0	318 36.9	328 38.1	10 1.2	9 1.0
主な診療科目別							
内科	416 100.0	76 18.3	27 6.5	149 35.8	154 37.0	4 1.0	6 1.4
精神・神経科	42 100.0	3 7.1	4 9.5	14 33.3	20 47.6	0 0.0	1 2.4
小児科	44 100.0	1 2.3	1 2.3	20 45.5	19 43.2	3 6.8	0 0.0
外科	28 100.0	8 28.6	0 0.0	10 35.7	10 35.7	0 0.0	0 0.0
整形外科	91 100.0	18 19.8	6 6.6	29 31.9	38 41.8	0 0.0	0 0.0
皮膚科	40 100.0	2 5.0	1 2.5	26 65.0	10 25.0	1 2.5	0 0.0
泌尿器科	20 100.0	2 10.0	1 5.0	11 55.0	6 30.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	5 26.3	2 10.5	3 15.8	9 47.4	0 0.0	0 0.0
眼科	44 100.0	8 18.2	2 4.5	18 40.9	16 36.4	0 0.0	0 0.0
耳鼻咽喉科	55 100.0	8 14.5	2 3.6	15 27.3	30 54.5	0 0.0	0 0.0
その他	45 100.0	6 13.3	5 11.1	18 40.0	15 33.3	1 2.2	0 0.0
無回答	17 100.0	7 41.2	1 5.9	5 29.4	1 5.9	1 5.9	2 11.8

⑨医師数

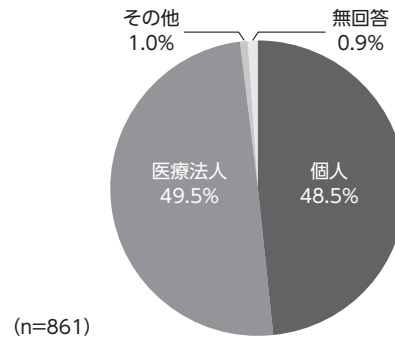
常勤医師数では、82.5%が常勤1人、12.1%が常勤2人となっている。また非常勤医師数では45.4%が0人であり、14.8%が1人となっており、常勤医師一人体制の無床診療所が多いと考えられる。クロス集計では、どの診療科においても同様の傾向がみられ、年齢による偏りも見られない。



⑩運営形態

診療所の運営形態については、個人が48.5%、医療法人が49.5%であった。診療科によるクロス集計では、整形外科と産婦人科などでやや医療法人の割合が多く、皮膚科、精神科、小児科で個人の割合が多い。

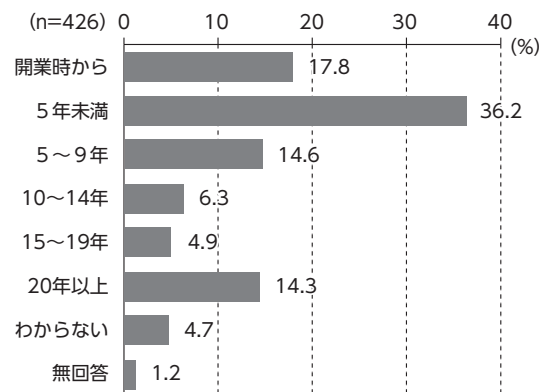
問11 診療所の運営形態



⑪法人化の時期

法人化した時期については、開業5年未満が36.2%、5年～9年が14.6%となっている。また、20年以上においても14.3%となっており、医院経営が軌道にのる時期と、継承を考える時期に法人化される傾向が読み取れる。診療科によるクロス集計では泌尿器科や外科において法人化する時期がやや遅い傾向が見られた。

付問11-1 開業して約何年目で法人化しましたか



⑫閉院を考えたことがあるか

「診療所（開業医）をやめようと思ったことがあるか」との問いには、「ある」が33.1%と一定の割合にあった。年齢によるクロス集計では60代、70代ではやや「ある」が増える傾向にある。また、「考えたことがない」も同様に60代、70代で減るため、この時期に閉院を考えることが伺える。診療科によるクロス集計では、泌尿器科において、「閉院を考えたことがない」が多い。

閉院を考えたことがある理由については、「雑務が多い」、「体力の衰え」、「医療DXについていけない」、「経営難」、「設備投資困難」などの理由が多い。

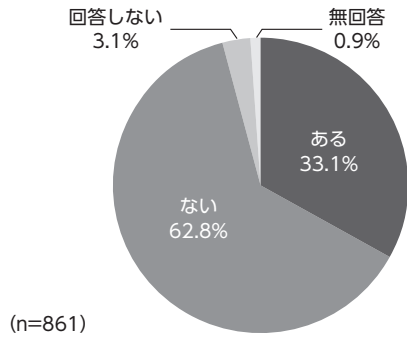
年齢によるクロス集計では、30代から60代の広い層において、「雑務の多さ」に悩んでいる一方で、70代、80代では少ない。「医療DXへの適応」、「体力の限界」、「患者減」については、30代から40代、50代と年

年齢が上がるに従い、困難な層が増えている。「設備投資」については、50代から困難な層が増えている。30代、40代は医療DXに適応できていると思われる一方で、雑務の多さには他の年齢層と同じく苦しんでおり、医療DXが医療現場の省力化に本当に貢献してい

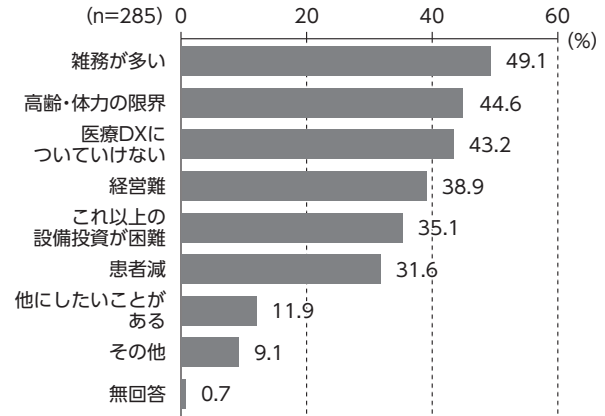
るのか疑問を新たにする機会となった。

診療科によるクロス集計では、産婦人科、皮膚科、整形外科、小児科の経営難、眼科の医療DXへの対応の困難など診療科ごとの傾向がみられる。

問 12 診療所（開業医）をやめようと考えたことはありますか



付問 12-1 その理由は何ですか【複数回答可】



付問12-1 その理由は何ですか【複数回答可】

年齢別		合計 (件)	理由								
			雑務が多い	高齢・体力の限界	医療DXについていけない	経営難	これ以上の設備投資が困難	患者減	他にしたいことがある	その他	無回答
全体		285	140	127	123	111	100	90	34	26	2
		100.0	49.1	44.6	43.2	38.9	35.1	31.6	11.9	9.1	0.7
30代		8	5	1	0	4	1	1	3	0	0
		100.0	62.5	12.5	0.0	50.0	12.5	12.5	37.5	0.0	0.0
40代		26	17	2	4	12	3	4	5	5	1
		100.0	65.4	7.7	15.4	46.2	11.5	15.4	19.2	19.2	3.8
50代		53	36	10	20	27	21	14	9	5	0
		100.0	67.9	18.9	37.7	50.9	39.6	26.4	17.0	9.4	0.0
60代		118	59	59	59	48	48	46	12	9	0
		100.0	50.0	50.0	50.0	40.7	40.7	39.0	10.2	7.6	0.0
70代		70	20	50	37	16	22	22	5	4	1
		100.0	28.6	71.4	52.9	22.9	31.4	31.4	7.1	5.7	1.4
80代以上		10	3	5	3	4	5	3	0	3	0
		100.0	30.0	50.0	30.0	40.0	50.0	30.0	0.0	30.0	0.0
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

付問12-1 その理由は何ですか【複数回答可】

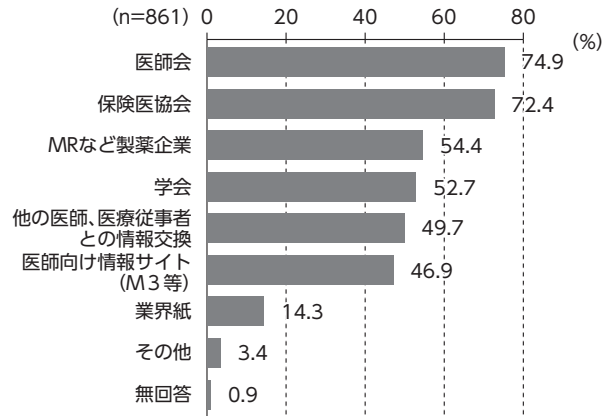
主な診療科目別		合計 (件)	理由								
			雑務が多い	高齢・体力の限界	医療DXについていけない	経営難	これ以上の設備投資が困難	患者減	他にしたいことがある	その他	無回答
全体		861	140	127	123	111	100	90	34	26	2
		100.0	49.1	44.6	43.2	38.9	35.1	31.6	11.9	9.1	0.7
内科		416	67	66	68	46	48	41	18	10	2
		100.0	47.5	46.8	48.2	32.6	34.0	29.1	12.8	7.1	1.4
精神・神経科		42	8	6	3	4	2	1	3	2	0
		100.0	66.7	50.0	25.0	33.3	16.7	8.3	25.0	16.7	0.0
小児科		44	10	7	5	8	4	4	2	0	0
		100.0	66.7	46.7	33.3	53.3	26.7	26.7	13.3	0.0	0.0
外科		28	3	6	1	3	1	5	0	1	0
		100.0	33.3	66.7	11.1	33.3	11.1	55.6	0.0	11.1	0.0
整形外科		91	14	10	9	14	13	9	1	1	0
		100.0	51.9	37.0	33.3	51.9	48.1	33.3	3.7	3.7	0.0
皮膚科		40	6	5	6	9	5	5	4	3	0
		100.0	35.3	29.4	35.3	52.9	29.4	29.4	23.5	17.6	0.0
泌尿器科		20	3	2	1	1	2	2	1	0	0
		100.0	100.0	66.7	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0
産婦人科		19	1	1	2	5	4	4	0	1	0
		100.0	14.3	14.3	28.6	71.4	57.1	57.1	0.0	14.3	0.0
眼科		44	6	6	10	6	6	4	0	2	0
		100.0	37.5	37.5	62.5	37.5	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0
耳鼻咽喉科		55	12	10	9	6	6	6	3	5	0
		100.0	60.0	50.0	45.0	30.0	30.0	30.0	15.0	25.0	0.0
その他		45	6	4	3	6	5	5	2	1	0
		100.0	54.5	36.4	27.3	54.5	45.5	45.5	18.2	9.1	0.0
無回答		17	4	4	6	3	4	4	0	0	0
		100.0	57.1	57.1	85.7	42.9	57.1	57.1	0.0	0.0	0.0

⑬医療情報の入手先

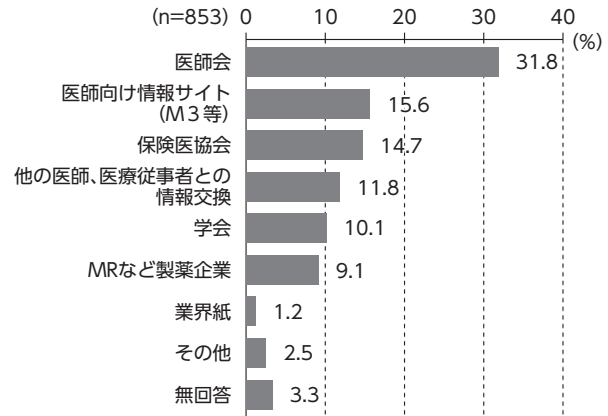
医療情報の入手先については、医師会、保険医協会、学会など団体からが多く、情報発信が各団体の重要な役割であることが確認できる。最も利用している情報入手先は「医師会」が31.8%、「保険医協会」が14.7%、「学会」や「製薬企業」が10.1%前後で続く。また、年齢によるクロス集計では30代で「医師むけ情報サイト」を重視する傾向が最も高く28.0%であり、「保険医協会」は4.0%に留まっている。この傾向は40代でも見られる。診療科によるクロス集計では、各診療科ごとの傾向が見て取れる。各学会、医会の活動状況や医療団体の各科ごとの提供する情報の差異などが伺える。小児科、産婦人科、外科において保険医協会の割合は低く、保険診療以外の自費分野の情報量の

報サイト」を重視する傾向が最も高く28.0%であり、「保険医協会」は4.0%に留まっている。この傾向は40代でも見られる。診療科によるクロス集計では、各診療科ごとの傾向が見て取れる。各学会、医会の活動状況や医療団体の各科ごとの提供する情報の差異などが伺える。小児科、産婦人科、外科において保険医協会の割合は低く、保険診療以外の自費分野の情報量の

問 13 医療情報はどこから入手していますか【複数回答可】



付問 13-1 最も利用している情報入手先



付問13-1 最も利用している情報入手先を1つだけお選びください

	合計 (件)	医師会	医師向け情報サイト (M3等)	保険医協会	他の医師、医療従事者との情報交換	学会	MRなど製薬企業	業界紙	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	853	271	133	125	101	86	78	10	21	28
	100.0	31.8	15.6	14.7	11.8	10.1	9.1	1.2	2.5	3.3
30代	25	5	7	1	6	3	1	0	1	1
	100.0	20.0	28.0	4.0	24.0	12.0	4.0	0.0	4.0	4.0
40代	98	25	16	5	23	13	10	0	3	3
	100.0	25.5	16.3	5.1	23.5	13.3	10.2	0.0	3.1	3.1
50代	204	63	33	26	33	21	22	1	3	2
	100.0	30.9	16.2	12.7	16.2	10.3	10.8	0.5	1.5	1.0
60代	311	97	52	50	33	31	26	5	9	8
	100.0	31.2	16.7	16.1	10.6	10.0	8.4	1.6	2.9	2.6
70代	181	70	22	33	6	17	13	4	5	11
	100.0	38.7	12.2	18.2	3.3	9.4	7.2	2.2	2.8	6.1
80代以上	33	11	3	10	0	1	5	0	0	3
	100.0	33.3	9.1	30.3	0.0	3.0	15.2	0.0	0.0	9.1
無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

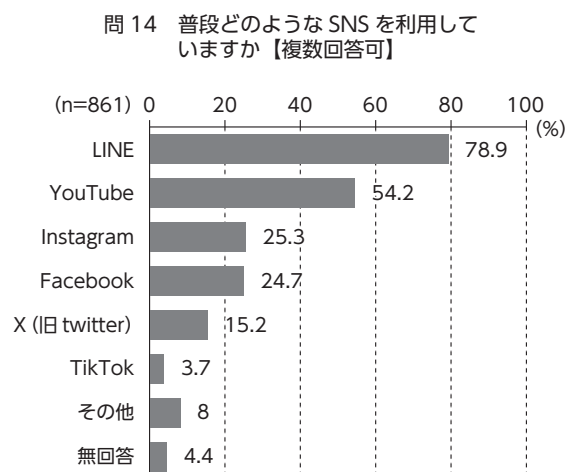
付問13-1 最も利用している情報入手先を1つだけお選びください

	合計 (件)	医師会	医師向け情報サイト (M3等)	保険医協会	他の医師、医療従事者との情報交換	学会	MRなど製薬企業	業界紙	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	853	271	133	125	101	86	78	10	21	28
	100.0	31.8	15.6	14.7	11.8	10.1	9.1	1.2	2.5	3.3
内科	412	141	70	72	39	24	40	5	10	11
	100.0	34.2	17.0	17.5	9.5	5.8	9.7	1.2	2.4	2.7
精神・神経科	41	5	7	8	8	5	3	0	4	1
	100.0	12.2	17.1	19.5	19.5	12.2	7.3	0.0	9.8	2.4
小児科	43	11	9	3	8	5	3	1	2	1
	100.0	25.6	20.9	7.0	18.6	11.6	7.0	2.3	4.7	2.3
外科	28	15	3	0	1	3	5	0	0	1
	100.0	53.6	10.7	0.0	3.6	10.7	17.9	0.0	0.0	3.6
整形外科	91	29	11	12	17	11	5	1	2	3
	100.0	31.9	12.1	13.2	18.7	12.1	5.5	1.1	2.2	3.3
皮膚科	40	12	3	7	2	6	8	0	0	2
	100.0	30.0	7.5	17.5	5.0	15.0	20.0	0.0	0.0	5.0
泌尿器科	20	7	2	4	2	1	2	0	1	1
	100.0	35.0	10.0	20.0	10.0	5.0	10.0	0.0	5.0	5.0
産婦人科	19	0	5	1	5	5	1	0	0	2
	100.0	0.0	26.3	5.3	26.3	26.3	5.3	0.0	0.0	10.5
眼科	44	15	4	4	8	6	4	1	2	0
	100.0	34.1	9.1	9.1	18.2	13.6	9.1	2.3	4.5	0.0
耳鼻咽喉科	55	21	12	5	6	7	2	1	0	1
	100.0	38.2	21.8	9.1	10.9	12.7	3.6	1.8	0.0	1.8
その他	43	8	6	8	5	11	5	0	0	0
	100.0	18.6	14.0	18.6	11.6	25.6	11.6	0.0	0.0	0.0
無回答	17	7	1	1	0	2	0	1	0	5
	100.0	41.2	5.9	5.9	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	29.4

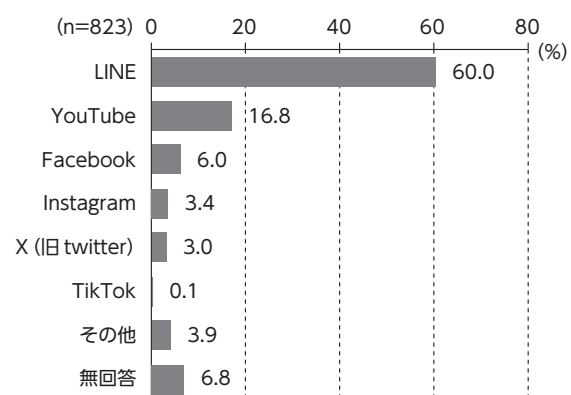
問題など分析すべき課題である。

⑭ SNSの利用

LINE、YouTube、Instagram、Facebookが良く利用されており、最も利用しているSNSとしては、LINEが60.0%となっている。



付問 14-1 最も利用している SNS

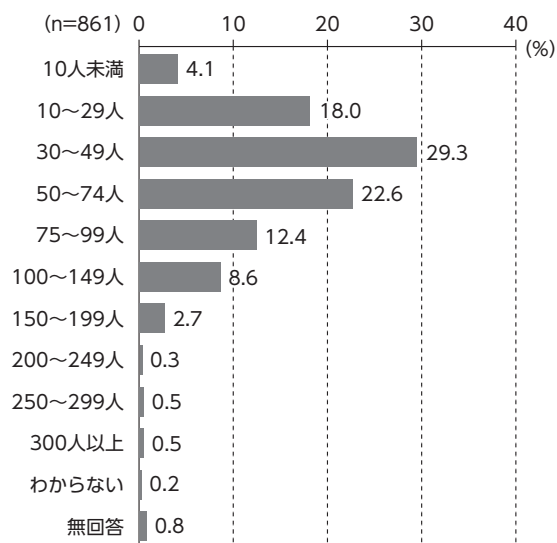


(2) 日常診療

●外来患者数

1日の平均外来患者数については、診療科とのクロス集計でみると、整形外科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科などで多い傾向があり、各診療科の診療の実際が強く影響している。また、自費分野の多い診療科では傾向を読み取るのが困難である。年齢とのクロス集計では年齢に応じて患者数が少なくなる傾向がみられるが、診療科の影響のほうが大きいと思われる。

問15 1日の平均外来患者数（全日診療の場合）



問15 1日の平均外来患者数（全日診療の場合）

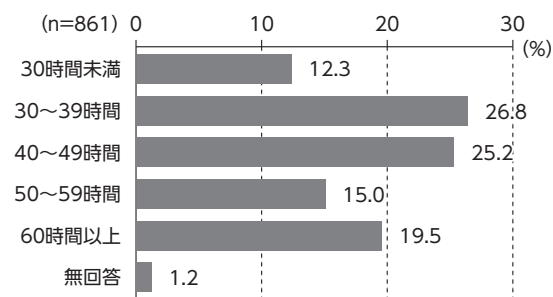
主な診療科目別	合計 (件)	10人未満	10～29人	30～49人	50～74人	75～99人	100～149人	150～199人	200～249人	250～299人	300人以上	わからない	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	861	4.1	18.0	29.3	22.6	12.4	8.6	2.7	0.3	0.5	0.5	0.2	0.8
内科	416	5.8	21.9	35.1	23.1	8.9	2.4	1.4	0.0	0.0	0.2	0.0	1.2
精神・神経科	42	0.0	26.2	47.6	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4
小児科	44	11.4	15.9	13.6	31.8	22.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
外科	28	0.0	14.3	35.7	28.6	17.9	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
整形外科	91	2.2	2.2	7.7	14.3	15.4	36.3	13.2	2.2	3.3	3.3	0.0	0.0
皮膚科	40	0.0	2.5	20.0	30.0	17.5	17.5	10.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
泌尿器科	20	0.0	15.0	45.0	30.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産婦人科	19	0.0	42.1	26.3	10.5	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
眼科	44	2.3	29.5	31.8	15.9	11.4	6.8	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
耳鼻咽喉科	55	1.8	3.6	18.2	36.4	20.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0
その他	45	2.2	24.4	24.4	20.0	20.0	6.7	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0
無回答	17	5.9	11.8	35.3	23.5	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

●労働時間

1週間の労働時間については、年齢によるクロス集計で「60時間以上」が若い層で多く、60代で少し減り始める。他の区分においても、60代から労働時間を減らす傾向がみられる。診療科によるクロス集計では、精神科において「60時間以上」の区分が多いが、各診療科ではばらつきがみられる。

いずれにせよ、開業医は現在も週40時間以上の労働が大半であり、人員や診療報酬の不足分を長時間労働で補っているのが現状である。

問16 先生自身の1週間の総労働時間



問16 先生自身の1週間の総労働時間（診療以外の労働時間も含む）は週当たりどれぐらいですか

		合計 (件)	労働時間					無回答
			30時間未満	30～39時間	40～49時間	50～59時間	60時間以上	
年齢別	全体	861	106	231	217	129	168	10
		100.0	12.3	26.8	25.2	15.0	19.5	1.2
	30代	26	2	4	9	4	7	0
		100.0	7.7	15.4	34.6	15.4	26.9	0.0
	40代	99	0	18	30	23	27	1
		100.0	0.0	18.2	30.3	23.2	27.3	1.0
	50代	204	14	43	47	42	55	3
		100.0	6.9	21.1	23.0	20.6	27.0	1.5
	60代	314	35	90	85	40	60	4
	100.0	11.1	28.7	27.1	12.7	19.1	1.3	
70代	184	41	64	41	18	18	2	
	100.0	22.3	34.8	22.3	9.8	9.8	1.1	
80代以上	33	14	12	5	1	1	0	
	100.0	42.4	36.4	15.2	3.0	3.0	0.0	
無回答	1	0	0	0	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	

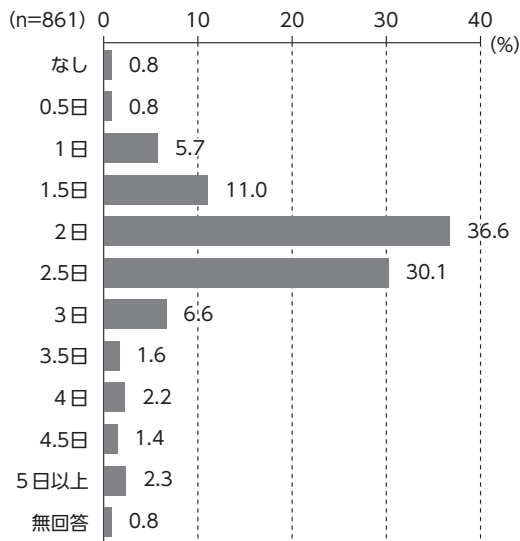
問16 先生自身の1週間の総労働時間（診療以外の労働時間も含む）は週当たりどれぐらいですか

		合計 (件)	労働時間					無回答
			30時間未満	30～39時間	40～49時間	50～59時間	60時間以上	
主な診療科目別	全体	861	106	231	217	129	168	10
		100.0	12.3	26.8	25.2	15.0	19.5	1.2
	内科	416	52	110	94	67	89	4
		100.0	12.5	26.4	22.6	16.1	21.4	1.0
	精神・神経科	42	8	5	12	3	13	1
		100.0	19.0	11.9	28.6	7.1	31.0	2.4
	小児科	44	2	11	12	11	8	0
		100.0	4.5	25.0	27.3	25.0	18.2	0.0
	外科	28	3	5	10	4	6	0
		100.0	10.7	17.9	35.7	14.3	21.4	0.0
	整形外科	91	10	24	24	15	17	1
		100.0	11.0	26.4	26.4	16.5	18.7	1.1
	皮膚科	40	7	16	7	4	5	1
		100.0	17.5	40.0	17.5	10.0	12.5	2.5
	泌尿器科	20	2	4	8	3	3	0
		100.0	10.0	20.0	40.0	15.0	15.0	0.0
	産婦人科	19	1	8	6	1	3	0
	100.0	5.3	42.1	31.6	5.3	15.8	0.0	
眼科	44	8	13	15	3	4	1	
	100.0	18.2	29.5	34.1	6.8	9.1	2.3	
耳鼻咽喉科	55	8	19	15	7	5	1	
	100.0	14.5	34.5	27.3	12.7	9.1	1.8	
その他	45	3	8	11	10	13	0	
	100.0	6.7	17.8	24.4	22.2	28.9	0.0	
無回答	17	2	8	3	1	2	1	
	100.0	11.8	47.1	17.6	5.9	11.8	5.9	

●休診日

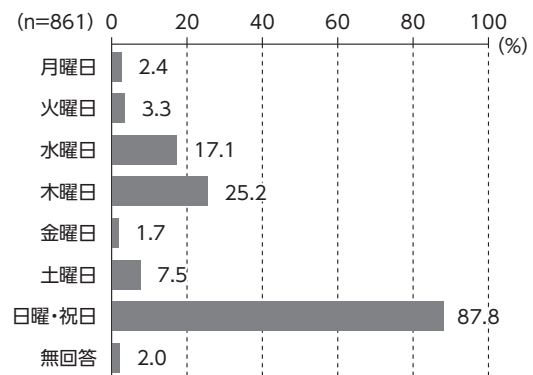
1週間の休診日数は、「2日」(36.6%)と「2.5日」

問17 1週間の休診日数



(30.1%)が多かった。平日の休診日は、水曜日が17.1%、木曜日が25.2%となっており、木曜日がやや多い。年齢によってこの傾向は変わらず、各診療科ごとに多少の傾向がみられる。

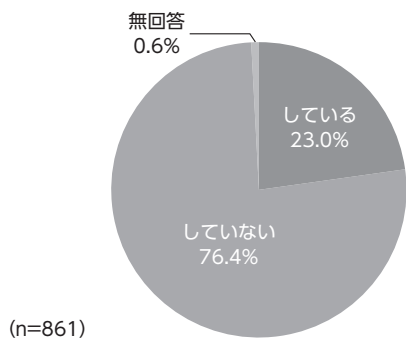
問18 休診日の曜日【複数回答可】



●他の医療機関での勤務

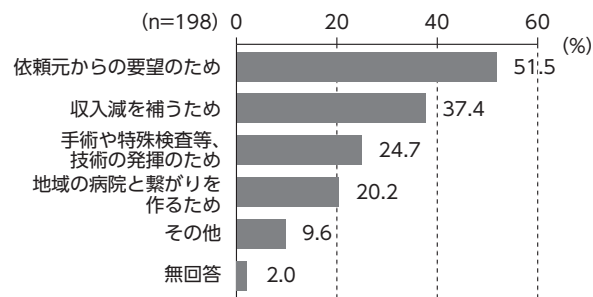
他の医療機関での短時間勤務については、76.4%が「していない」、23.0%が「している」となっている。年齢が上がるにつれて、「していない」が多くなる傾向にある。診療科では小児科と精神科で「している」割合が多少高くなっている。

問 19 他の医療機関で短時間勤務（非常勤）をしていますか



その理由については、「依頼元からの要望のため」が51.5%、「収入減を補うため」が37.4%、「手術など技術の発揮のため」が24.7%、「地域の病院と繋がりを作るため」が20.2%となっている。年齢とのクロス集計では、30代、40代では「収入減を補うため」が多いのが目を引く。診療科とのクロス集計では外科系において手術等の技術の発揮が多く、精神科では収入減を補うためが多い。

付問 19-1 その理由を以下からお選びください【複数回答可】



付問19-1 その理由を以下からお選びください【複数回答可】

年齢別		合計 (件)	依頼元からの	収入減を補う	手術や特殊検査等、	地域の病院と繋	その他	無回答
			要望のため	ため	技術の発揮のため	がりを作るため		
年齢別	全体	198	102	74	49	40	19	4
		100.0	51.5	37.4	24.7	20.2	9.6	2.0
	30代	10	2	7	3	4	1	0
		100.0	20.0	70.0	30.0	40.0	10.0	0.0
	40代	37	16	19	11	12	1	0
		100.0	43.2	51.4	29.7	32.4	2.7	0.0
	50代	58	34	18	16	13	5	0
		100.0	58.6	31.0	27.6	22.4	8.6	0.0
60代	60	30	20	14	9	10	3	
	100.0	50.0	33.3	23.3	15.0	16.7	5.0	
70代	30	19	10	3	2	1	1	
	100.0	63.3	33.3	10.0	6.7	3.3	3.3	
80代以上	2	1	0	1	0	1	0	
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	
無回答	1	0	0	1	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

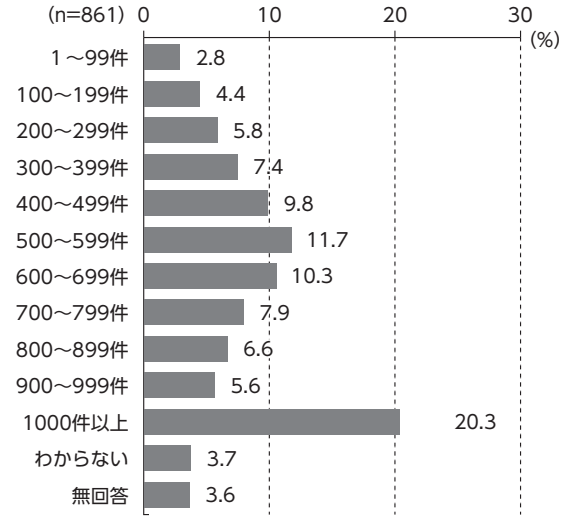
付問19-1 その理由を以下からお選びください【複数回答可】

主な診療科目別		合計 (件)	依頼元からの	収入減を補う	手術や特殊検査等、	地域の病院と繋	その他	無回答
			要望のため	ため	技術の発揮のため	がりを作るため		
主な診療科目別	全体	198	102	74	49	40	19	4
		100.0	51.5	37.4	24.7	20.2	9.6	2.0
	内科	103	54	34	22	22	11	1
		100.0	52.4	33.0	21.4	21.4	10.7	1.0
	精神・神経科	15	9	10	1	6	1	0
		100.0	60.0	66.7	6.7	40.0	6.7	0.0
	小児科	15	7	5	1	5	1	2
		100.0	46.7	33.3	6.7	33.3	6.7	13.3
	外科	8	5	2	3	1	0	0
		100.0	62.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0
	整形外科	22	13	7	7	1	2	0
		100.0	59.1	31.8	31.8	4.5	9.1	0.0
	皮膚科	8	1	2	3	2	2	0
		100.0	12.5	25.0	37.5	25.0	25.0	0.0
	泌尿器科	2	1	1	0	1	0	0
	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
産婦人科	3	2	2	1	0	0	0	
	100.0	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	
眼科	6	5	3	2	0	1	0	
	100.0	83.3	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	
耳鼻咽喉科	5	3	2	1	0	0	0	
	100.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
その他	11	2	6	8	2	1	1	
	100.0	18.2	54.5	72.7	18.2	9.1	9.1	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

●診療報酬明細書（レセプト）総件数

2025年7月診療分のレセプト総件数では、「1000件以上」の回答が多く寄せられた。年齢とのクロス集計では、「1000件以上」の医療機関は40代、50代に多く見られ、件数が少ない医療機関は80代以上で多く見られた。診療科とのクロス集計では、皮膚科、耳鼻咽喉科、整形外科など一般的に患者数が多いとされる科で、レセプト件数が多い傾向が見られた。前回調査（2004）と比べても年代・全科ともレセ件数が多くなっている。

問20 2025年7月診療分の診療報酬明細書（レセプト）【総件数】



問20 2025年7月診療分の診療報酬明細書（レセプト）【総件数】

	合計 (件)	診療報酬明細書（レセプト）【総件数】												わからない	無回答
		1～99 件	100～ 199件	200～ 299件	300～ 399件	400～ 499件	500～ 599件	600～ 699件	700～ 799件	800～ 899件	900～ 999件	1000件 以上			
全体	861	24	38	50	64	84	101	89	68	57	48	175	32	31	
	100.0	2.8	4.4	5.8	7.4	9.8	11.7	10.3	7.9	6.6	5.6	20.3	3.7	3.6	
30代	26	1	4	1	1	1	3	2	2	2	2	5	1	1	
	100.0	3.8	15.4	3.8	3.8	3.8	11.5	7.7	7.7	7.7	7.7	19.2	3.8	3.8	
40代	99	2	2	2	6	7	12	5	4	11	3	33	8	4	
	100.0	2.0	2.0	2.0	6.1	7.1	12.1	5.1	4.0	11.1	3.0	33.3	8.1	4.0	
50代	204	3	4	6	14	19	20	25	19	12	13	58	6	5	
	100.0	1.5	2.0	2.9	6.9	9.3	9.8	12.3	9.3	5.9	6.4	28.4	2.9	2.5	
60代	314	9	9	22	23	31	36	45	29	19	23	47	7	14	
	100.0	2.9	2.9	7.0	7.3	9.9	11.5	14.3	9.2	6.1	7.3	15.0	2.2	4.5	
70代	184	9	11	19	18	21	27	10	10	12	7	28	6	6	
	100.0	4.9	6.0	10.3	9.8	11.4	14.7	5.4	5.4	6.5	3.8	15.2	3.3	3.3	
80代以上	33	0	8	0	2	5	3	2	4	1	0	4	3	1	
	100.0	0.0	24.2	0.0	6.1	15.2	9.1	6.1	12.1	3.0	0.0	12.1	9.1	3.0	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

問20 2025年7月診療分の診療報酬明細書（レセプト）【総件数】

	合計 (件)	診療報酬明細書（レセプト）【総件数】												わからない	無回答
		1～99 件	100～ 199件	200～ 299件	300～ 399件	400～ 499件	500～ 599件	600～ 699件	700～ 799件	800～ 899件	900～ 999件	1000件 以上			
全体	861	24	38	50	64	84	101	89	68	57	48	175	32	31	
	100.0	2.8	4.4	5.8	7.4	9.8	11.7	10.3	7.9	6.6	5.6	20.3	3.7	3.6	
内科	416	18	27	21	33	49	60	44	32	26	20	65	11	10	
	100.0	4.3	6.5	5.0	7.9	11.8	14.4	10.6	7.7	6.3	4.8	15.6	2.6	2.4	
精神・神経科	42	0	1	2	3	6	7	8	2	2	1	6	3	1	
	100.0	0.0	2.4	4.8	7.1	14.3	16.7	19.0	4.8	4.8	2.4	14.3	7.1	2.4	
小児科	44	2	2	3	2	5	4	6	3	4	3	8	1	1	
	100.0	4.5	4.5	6.8	4.5	11.4	9.1	13.6	6.8	9.1	6.8	18.2	2.3	2.3	
外科	28	0	0	3	3	3	3	2	3	2	1	7	0	1	
	100.0	0.0	0.0	10.7	10.7	10.7	10.7	7.1	10.7	7.1	3.6	25.0	0.0	3.6	
整形外科	91	1	2	3	4	7	7	10	10	7	10	23	3	4	
	100.0	1.1	2.2	3.3	4.4	7.7	7.7	11.0	11.0	7.7	11.0	25.3	3.3	4.4	
皮膚科	40	0	0	2	1	2	2	5	0	2	4	18	1	3	
	100.0	0.0	0.0	5.0	2.5	5.0	5.0	12.5	0.0	5.0	10.0	45.0	2.5	7.5	
泌尿器科	20	0	0	2	1	2	1	1	3	2	1	7	0	0	
	100.0	0.0	0.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0	15.0	10.0	5.0	35.0	0.0	0.0	
産婦人科	19	0	0	6	4	0	2	2	1	1	0	3	0	0	
	100.0	0.0	0.0	31.6	21.1	0.0	10.5	10.5	5.3	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	
眼科	44	0	0	2	3	5	4	5	3	3	2	8	2	7	
	100.0	0.0	0.0	4.5	6.8	11.4	9.1	11.4	6.8	6.8	4.5	18.2	4.5	15.9	
耳鼻咽喉科	55	0	3	1	3	2	4	4	9	5	3	17	4	0	
	100.0	0.0	5.5	1.8	5.5	3.6	7.3	7.3	16.4	9.1	5.5	30.9	7.3	0.0	
その他	45	2	2	4	6	3	4	1	1	1	3	10	6	2	
	100.0	4.4	4.4	8.9	13.3	6.7	8.9	2.2	2.2	2.2	6.7	22.2	13.3	4.4	
無回答	17	1	1	1	1	0	3	1	1	2	0	3	1	2	
	100.0	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	17.6	5.9	11.8	

●コロナ禍以降の患者数の動向

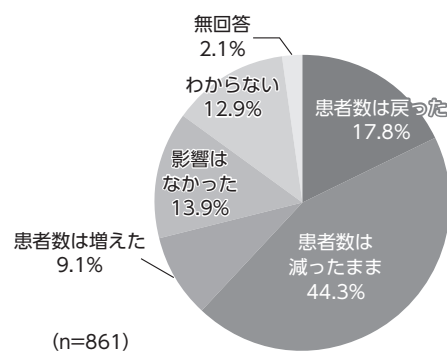
コロナ禍（2020年4月～2023年3月末）以降の患者数の動向については、「患者数は減ったまま」が44.3%、「戻った」が17.8%、「増えた」が9.1%、「影響はなかった」が13.9%であった。「減ったまま」と「戻った」を合わせると、62.1%がコロナ禍による患者減を経験しており、その中で7割が患者が減ったままということになる。

年齢とのクロス集計では60代、70代、80代以上において、「減ったまま」との回答が多く、「戻った」との回答は50代で多い。50代は「増えた」との回答も比較的多い。傾向として医師の年齢が高いほどコロナ禍の影響が大きく、患者が戻る割合も低いと言える。

診療科とのクロス集計では、「戻った」と「減ったまま」の合計が、内科、小児科、整形外科、眼科で高い。これらの科はいずれも「減ったまま」の比率も高い。精神科は「戻った」、「影響はなかった」との割合

が高く、影響が比較的少ない印象であり、泌尿器科、産婦人科では、「減ったまま」が少なく、「増えた」とする傾向もみられる。その他に皮膚科や眼科なども影響は大きいものの、「増えた」との回答が多い傾向があるなど、診療科ごとの傾向が顕著である。

問21 コロナ禍（2020年4月～2023年3月末）以降の患者数の動向



問21 コロナ禍（2020年4月～2023年3月末）以降の患者数の動向

年齢別		合計 (件)	患者数は	患者数は	患者数は	影響はなかった	わからない	無回答
			戻った	減ったまま	増えた			
年齢別	全体	861	153	381	78	120	111	18
		100.0	17.8	44.3	9.1	13.9	12.9	2.1
	30代	26	3	4	1	2	16	0
		100.0	11.5	15.4	3.8	7.7	61.5	0.0
	40代	99	16	17	15	12	35	4
		100.0	16.2	17.2	15.2	12.1	35.4	4.0
	50代	204	50	58	27	34	30	5
		100.0	24.5	28.4	13.2	16.7	14.7	2.5
60代	314	51	180	23	41	16	3	
	100.0	16.2	57.3	7.3	13.1	5.1	1.0	
70代	184	30	102	11	25	11	5	
	100.0	16.3	55.4	6.0	13.6	6.0	2.7	
80代以上	33	3	20	1	6	2	1	
	100.0	9.1	60.6	3.0	18.2	6.1	3.0	
無回答	1	0	0	0	0	1	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

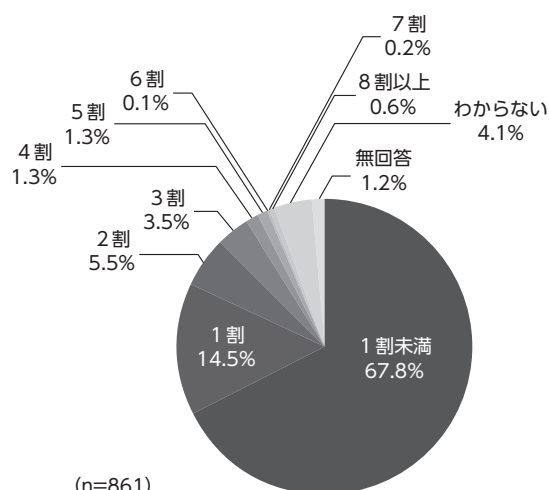
問21 コロナ禍（2020年4月～2023年3月末）以降の患者数の動向

主な診療科目別		合計 (件)	患者数は	患者数は	患者数は	影響はなかった	わからない	無回答
			戻った	減ったまま	増えた			
主な診療科目別	全体	861	153	381	78	120	111	18
		100.0	17.8	44.3	9.1	13.9	12.9	2.1
	内科	416	68	191	35	63	53	6
		100.0	16.3	45.9	8.4	15.1	12.7	1.4
	精神・神経科	42	10	10	4	9	7	2
		100.0	23.8	23.8	9.5	21.4	16.7	4.8
	小児科	44	5	23	1	5	9	1
		100.0	11.4	52.3	2.3	11.4	20.5	2.3
	外科	28	4	11	3	6	3	1
		100.0	14.3	39.3	10.7	21.4	10.7	3.6
	整形外科	91	20	47	3	10	7	4
		100.0	22.0	51.6	3.3	11.0	7.7	4.4
	皮膚科	40	7	17	7	3	6	0
		100.0	17.5	42.5	17.5	7.5	15.0	0.0
	泌尿器科	20	1	7	5	6	1	0
	100.0	5.0	35.0	25.0	30.0	5.0	0.0	
産婦人科	19	2	6	3	6	2	0	
	100.0	10.5	31.6	15.8	31.6	10.5	0.0	
眼科	44	9	21	7	2	4	1	
	100.0	20.5	47.7	15.9	4.5	9.1	2.3	
耳鼻咽喉科	55	15	28	3	1	8	0	
	100.0	27.3	50.9	5.5	1.8	14.5	0.0	
その他	45	7	13	6	7	11	1	
	100.0	15.6	28.9	13.3	15.6	24.4	2.2	
無回答	17	5	7	1	2	0	2	
	100.0	29.4	41.2	5.9	11.8	0.0	11.8	

●総収入に対する自由診療の割合

総収入に対する自由診療の割合については、「1割未満」が67.8%、「1割」が14.5%、「2割」が5.5%となった。診療科とのクロス集計では、小児科、産婦人科、皮膚科で自由診療の割合が高い傾向がみられる。ワクチンや妊婦検診、美容など、それぞれの診療科における保険外診療の影響と思われる。

問 22 総収入に対する自由診療の割合



問22 総収入に対する自由診療の割合について以下からお選びください

	合計 (件)	1割未満	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	わからない	無回答
全体	861 100.0	584 67.8	125 14.5	47 5.5	30 3.5	11 1.3	11 1.3	1 0.1	2 0.2	5 0.6	35 4.1	10 1.2
内科	416 100.0	294 70.7	74 17.8	23 5.5	2 0.5	1 0.2	1 0.2	0 0.0	1 0.2	2 0.5	15 3.6	3 0.7
精神・神経科	42 100.0	31 73.8	8 19.0	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.8	0 0.0
小児科	44 100.0	12 27.3	7 15.9	5 11.4	12 27.3	3 6.8	2 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.5	1 2.3
外科	28 100.0	15 53.6	9 32.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.7	1 3.6
整形外科	91 100.0	59 64.8	13 14.3	8 8.8	3 3.3	3 3.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.3	2 2.2
皮膚科	40 100.0	22 55.0	4 10.0	3 7.5	5 12.5	2 5.0	2 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	1 2.5
泌尿器科	20 100.0	17 85.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	1 5.3	2 10.5	3 15.8	5 26.3	1 5.3	3 15.8	0 0.0	1 5.3	1 5.3	2 10.5	0 0.0
眼科	44 100.0	38 86.4	4 9.1	0 0.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.3	0 0.0
耳鼻咽喉科	55 100.0	52 94.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 5.5	0 0.0
その他	45 100.0	31 68.9	2 4.4	3 6.7	1 2.2	0 0.0	2 4.4	1 2.2	0 0.0	2 4.4	2 4.4	1 2.2
無回答	17 100.0	12 70.6	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9

(3) 在宅医療・介護保険事業

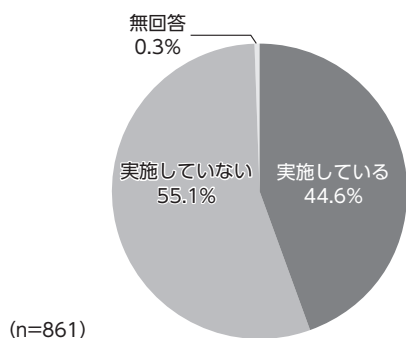
●在宅医療の実施状況

在宅医療を「実施している」という回答が全体では44.6%と半数を割り込んでおり、前回調査と比較すると20%ほど落ち込んでいる。

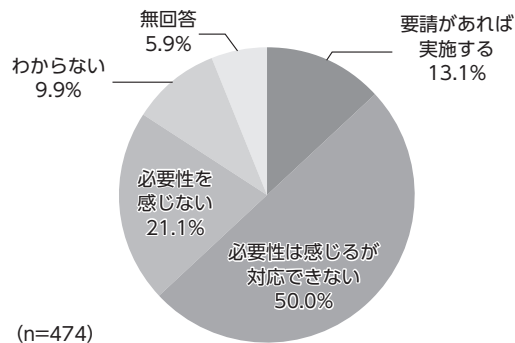
現在、実施していない診療所の今後の実施予定については、「必要性を感じるが対応できない」が全体で

50.0%（内科では67.7%）、「必要性を感じない」が全体で21.1%となっており、今後大きく増える傾向になることがうかがえる。「必要性を感じない」と回答した診療所を科別に見ると、皮膚科が37.5%となった。地域医療対策部のアンケートでは在宅医療で連携して欲しい科として常に上位を占めているが、ギャップを感じる結果となった。

問 23 往診や訪問診療を実施されていますか



付問 23-3 今後の往診や訪問診療の実施予定



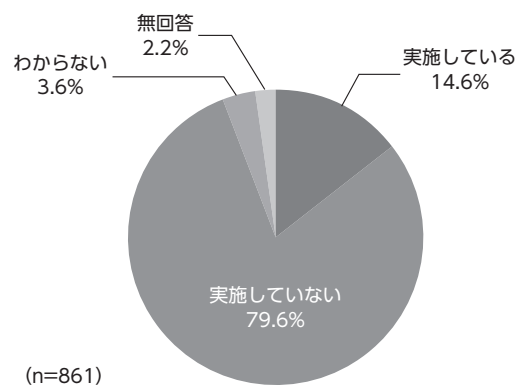
付問23-3 今後の往診や訪問診療の実施予定はありますか

主な診療科目別	合計 (件)		要請があれば実施する	必要性を感じるが対応できない	必要性を感じない	わからない	無回答
	件数	割合	割合	割合	割合	割合	割合
全体	474	100.0	13.1	50.0	21.1	9.9	5.9
内科	155	100.0	9.7	67.7	8.4	7.1	7.1
精神・神経科	28	100.0	10.7	35.7	28.6	17.9	7.1
小児科	39	100.0	12.8	43.6	28.2	10.3	5.1
外科	12	100.0	25.0	50.0	0.0	8.3	16.7
整形外科	68	100.0	16.2	44.1	26.5	4.4	8.8
皮膚科	32	100.0	6.3	40.6	37.5	12.5	3.1
泌尿器科	6	100.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0
産婦人科	18	100.0	11.1	22.2	50.0	16.7	0.0
眼科	31	100.0	12.9	61.3	9.7	12.9	3.2
耳鼻咽喉科	47	100.0	14.9	38.3	25.5	19.1	2.1
その他	30	100.0	16.7	40.0	36.7	6.7	0.0
無回答	8	100.0	37.5	12.5	25.0	0.0	25.0

問 24 介護保険事業を実施していますか

●介護保険事業の実施状況

介護保険事業については「実施している」との回答が14.6%となっており、前回調査（2004年）から30%以上落ち込んだ。前回は6割を超えた内科でも19.7%となり、医師の「介護保険離れ」が深刻となっている。



問24 介護保険事業を実施していますか

	合計 (件)	実施している	実施していない	わからない	無回答
全体	861 100.0	126 14.6	685 79.6	31 3.6	19 2.2
内科	416 100.0	82 19.7	306 73.6	19 4.6	9 2.2
精神・神経科	42 100.0	2 4.8	40 95.2	0 0.0	0 0.0
小児科	44 100.0	3 6.8	40 90.9	0 0.0	1 2.3
外科	28 100.0	3 10.7	22 78.6	2 7.1	1 3.6
整形外科	91 100.0	27 29.7	61 67.0	2 2.2	1 1.1
皮膚科	40 100.0	0 0.0	36 90.0	3 7.5	1 2.5
泌尿器科	20 100.0	0 0.0	20 100.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	0 0.0	17 89.5	0 0.0	2 10.5
眼科	44 100.0	0 0.0	44 100.0	0 0.0	0 0.0
耳鼻咽喉科	55 100.0	0 0.0	51 92.7	2 3.6	2 3.6
その他	45 100.0	8 17.8	34 75.6	2 4.4	1 2.2
無回答	17 100.0	1 5.9	14 82.4	1 5.9	1 5.9

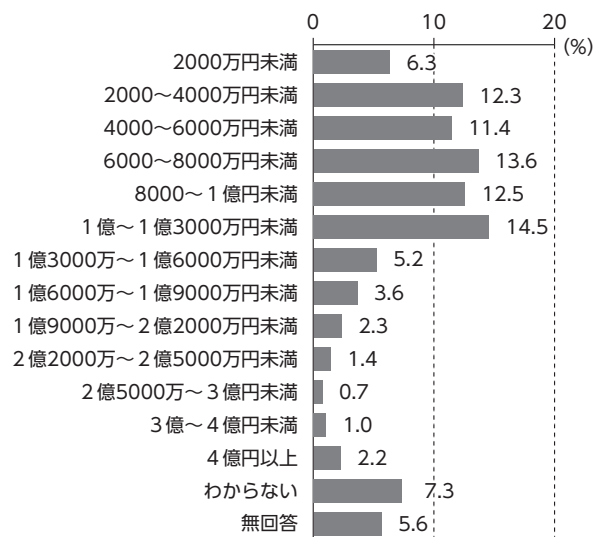
主な診療科目別

(4) 院所経営と税務の現状

●院所の総収入額（2024年度）

総収入額は科目別、問20「レセプト総件数」（→15頁）と関連する。全体的に分散しているが、「1億円未満」が56.1%、「1億円超」が30.9%となった。科目別では、1億円を超える科目は、順に整形外科（44.0%）、小児科（38.6%）、外科（32.2%）、内科（29.3%）であった。

問25 院所の昨年度（2024年度）総収入額（水揚げ額）



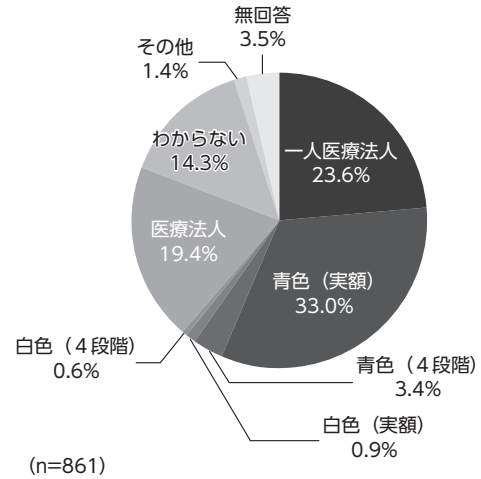
問25 院所の昨年度（2024年度）総収入額（水揚げ額）をお教えてください

	合計 (件)	収入額区分 (%)														わからない	無回答
		2000万円未満	2000～4000万円未満	4000～6000万円未満	6000～8000万円未満	8000～1億円未満	1億～1億3000万円未満	1億3000万～1億6000万円未満	1億6000万～1億9000万円未満	1億9000万～2億2000万円未満	2億2000万～2億5000万円未満	2億5000万～3億円未満	3億～4億円未満	4億円以上			
全体	861	54	106	98	117	108	125	45	31	20	12	6	9	19	63	48	
内科	416	34	45	49	62	54	66	18	15	7	4	1	3	8	27	23	
精神・神経科	42	5	11	7	4	4	3	1	0	1	1	1	0	0	2	2	
小児科	44	5	4	2	5	7	7	4	3	3	0	0	0	0	3	1	
外科	28	1	7	2	4	3	3	4	1	0	0	0	0	1	1	1	
整形外科	91	1	6	9	8	12	15	7	6	3	3	0	3	3	9	6	
皮膚科	40	1	6	8	6	6	2	1	1	1	0	0	1	0	2	5	
泌尿器科	20	0	1	1	4	6	2	2	0	0	1	0	0	1	1	1	
産婦人科	19	0	6	1	2	0	4	0	0	1	0	0	1	1	2	1	
眼科	44	2	9	7	10	1	1	1	2	1	2	0	1	0	5	2	
耳鼻咽喉科	55	2	5	3	10	11	10	4	1	1	0	1	0	1	4	2	
その他	45	2	3	7	1	2	9	2	2	2	1	2	0	4	6	2	
無回答	17	1	3	2	1	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	2	

● 院所の税申告形態

税申告形態は、問11「診療所の運営形態」(→8頁)、問25「総収入額」(→20頁)と関連する。「青色(実額)」33.0%、「青色(4段階)」3.4%が多く、「白色(実額)」0.9%、「白色(4段階)」0.6%であった。4段階税制(特別措置法)を利用している科目は、多い順で皮膚科(青色10.0%/白色2.5%)、耳鼻咽喉科(青色7.3%/白色0%)、年代は80代(青色6.1%/白色3.0%)、60代(青色5.1%/白色0.3%)であった。

問26 院所の昨年度の税申告形態



問26 院所の昨年度の税申告形態

	問26 院所の昨年度の税申告形態										
	合計(件)	一人医療法人	青色(実額)	青色(4段階)	白色(実額)	白色(4段階)	医療法人	わからない	その他	無回答	
全体	861 100.0	203 23.6	284 33.0	29 3.4	8 0.9	5 0.6	167 19.4	123 14.3	12 1.4	30 3.5	
30代	26 100.0	1 3.8	8 30.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	4 15.4	9 34.6	2 7.7	1 3.8	
40代	99 100.0	8 8.1	30 30.3	1 1.0	0 0.0	0 0.0	32 32.3	23 23.2	1 1.0	4 4.0	
50代	204 100.0	46 22.5	68 33.3	7 3.4	0 0.0	1 0.5	32 15.7	40 19.6	2 1.0	8 3.9	
60代	314 100.0	86 27.4	104 33.1	16 5.1	5 1.6	1 0.3	59 18.8	31 9.9	5 1.6	7 2.2	
70代	184 100.0	51 27.7	70 38.0	2 1.1	3 1.6	2 1.1	30 16.3	17 9.2	1 0.5	8 4.3	
80代以上	33 100.0	11 33.3	4 12.1	2 6.1	0 0.0	1 3.0	10 30.3	2 6.1	1 3.0	2 6.1	
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	

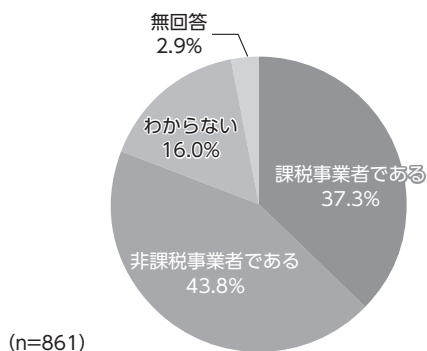
問26 院所の昨年度の税申告形態

	問26 院所の昨年度の税申告形態										
	合計(件)	一人医療法人	青色(実額)	青色(4段階)	白色(実額)	白色(4段階)	医療法人	わからない	その他	無回答	
全体	861 100.0	203 23.6	284 33.0	29 3.4	8 0.9	5 0.6	167 19.4	123 14.3	12 1.4	30 3.5	
内科	416 100.0	105 25.2	134 32.2	13 3.1	4 1.0	1 0.2	79 19.0	62 14.9	7 1.7	11 2.6	
精神・神経科	42 100.0	7 16.7	17 40.5	4 9.5	0 0.0	0 0.0	7 16.7	7 16.7	0 0.0	0 0.0	
小児科	44 100.0	11 25.0	19 43.2	1 2.3	0 0.0	0 0.0	5 11.4	6 13.6	1 2.3	1 2.3	
外科	28 100.0	7 25.0	10 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 25.0	2 7.1	0 0.0	2 7.1	
整形外科	91 100.0	22 24.2	25 27.5	0 0.0	3 3.3	0 0.0	21 23.1	14 15.4	1 1.1	5 5.5	
皮膚科	40 100.0	9 22.5	17 42.5	4 10.0	1 2.5	1 2.5	2 5.0	3 7.5	0 0.0	3 7.5	
泌尿器科	20 100.0	6 30.0	7 35.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	
産婦人科	19 100.0	4 21.1	6 31.6	1 5.3	0 0.0	0 0.0	3 15.8	5 26.3	0 0.0	0 0.0	
眼科	44 100.0	11 25.0	13 29.5	0 0.0	0 0.0	3 6.8	10 22.7	4 9.1	1 2.3	2 4.5	
耳鼻咽喉科	55 100.0	12 21.8	16 29.1	4 7.3	0 0.0	0 0.0	9 16.4	12 21.8	1 1.8	1 1.8	
その他	45 100.0	5 11.1	14 31.1	1 2.2	0 0.0	0 0.0	16 35.6	6 13.3	0 0.0	3 6.7	
無回答	17 100.0	4 23.5	6 35.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 29.4	0 0.0	0 0.0	2 11.8	

●消費税の課税事業者

課税事業者37.3%、非課税事業者43.8%であった。問22「自由診療の割合」(→17頁)と関連する。回答が多かったのは小児科(79.5%)、産婦人科(68.4%)、内科(40.9%)となっている。年代の有意差はなかった。

問27 院所は消費税の課税事業者ですか



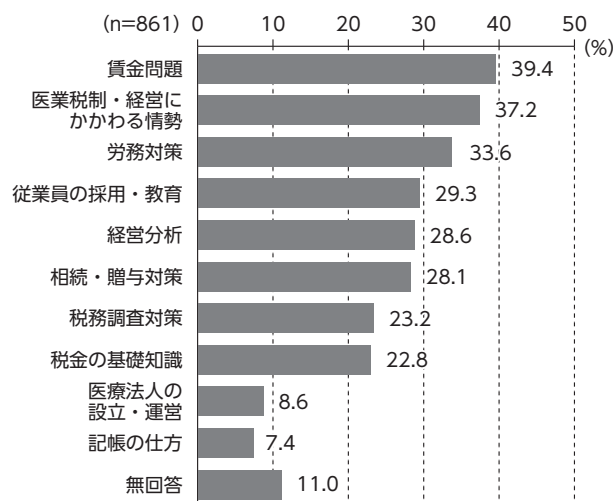
問27 院所は消費税の課税事業者ですか

主な診療科目別	問27 院所は消費税の課税事業者ですか				
	合計(件)	課税事業者である	非課税事業者である	わからない	無回答
全体	861	321	377	138	25
	100.0	37.3	43.8	16.0	2.9
内科	416	170	179	62	5
	100.0	40.9	43.0	14.9	1.2
精神・神経科	42	9	26	7	0
	100.0	21.4	61.9	16.7	0.0
小児科	44	35	5	1	3
	100.0	79.5	11.4	2.3	6.8
外科	28	11	12	4	1
	100.0	39.3	42.9	14.3	3.6
整形外科	91	23	40	23	5
	100.0	25.3	44.0	25.3	5.5
皮膚科	40	14	18	4	4
	100.0	35.0	45.0	10.0	10.0
泌尿器科	20	5	13	2	0
	100.0	25.0	65.0	10.0	0.0
産婦人科	19	13	4	2	0
	100.0	68.4	21.1	10.5	0.0
眼科	44	11	22	10	1
	100.0	25.0	50.0	22.7	2.3
耳鼻咽喉科	55	12	34	8	1
	100.0	21.8	61.8	14.5	1.8
その他	45	9	21	13	2
	100.0	20.0	46.7	28.9	4.4
無回答	17	9	3	2	3
	100.0	52.9	17.6	11.8	17.6

●税務・経営・雇用対策への要望

全科を通し、「賃金問題」、「医業税制・経営に係る情勢」に回答が集中した。次いで、年代別では30代が「経営分析」、40代は「医業情勢」、50・60代は「賃金問題・労務対策」、70代・80代は「相続対策」への回答が多かった。

問29 税務経営対策活動で今後、どのような取り組みを希望されますか【複数回答可】



問29 税務経営対策活動で今後、どのような取り組みを希望されますか【複数回答可】

年齢別	問29 税務経営対策活動で今後、どのような取り組みを希望されますか【複数回答可】												
	合計(件)	賃金問題	医業税制・経営にかかわる情勢	労務対策	従業員の採用・教育	経営分析	相続・贈与対策	税務調査対策	税金の基礎知識	医療法人の設立・運営	記帳の仕方	無回答	
全体	861	339	320	289	252	246	242	200	196	74	64	95	
	100.0	39.4	37.2	33.6	29.3	28.6	28.1	23.2	22.8	8.6	7.4	11.0	
30代	26	13	12	13	12	16	9	9	10	7	4	1	
	100.0	50.0	46.2	50.0	46.2	61.5	34.6	34.6	38.5	26.9	15.4	3.8	
40代	99	39	46	39	34	38	16	28	31	17	10	10	
	100.0	39.4	46.5	39.4	34.3	38.4	16.2	28.3	31.3	17.2	10.1	10.1	
50代	204	88	89	96	75	76	40	58	67	21	16	15	
	100.0	43.1	43.6	47.1	36.8	37.3	19.6	28.4	32.8	10.3	7.8	7.4	
60代	314	132	109	104	88	82	99	67	56	16	18	32	
	100.0	42.0	34.7	33.1	28.0	26.1	31.5	21.3	17.8	5.1	5.7	10.2	
70代	184	62	55	35	38	32	66	34	30	11	13	28	
	100.0	33.7	29.9	19.0	20.7	17.4	35.9	18.5	16.3	6.0	7.1	15.2	
80代以上	33	4	8	2	5	2	12	4	1	1	3	9	
	100.0	12.1	24.2	6.1	15.2	6.1	36.4	12.1	3.0	3.0	9.1	27.3	
無回答	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	

(5) 従業員の状況

●職員の社会保険、公的年金制度への加入

職員が加入している医療保険（問30-1）については、全体では「市町村国保又は医師国保」39.8%、「協会けんぽ」35.3%、「加入していない」12.9%、「分からない」6.2%であった。年齢別クロス集計では、市

町村国保又は医師国保に加入させている年代が多いのは、70代（39.7%）、60代（49.0%）、協会けんぽ加入が多い世代は、50代（39.7%）、40代（58.6%）、30代（57.7%）と相対する結果となった。科目別での協会けんぽ加入は、小児科（45.5%）、精神科（45.2%）、内科（39.2%）の割合が多く、泌尿器科（20.0%）、眼科（20.5%）、耳鼻咽喉科（23.6%）は少なかった。

問30 1) 職員は社会保険に加入していますか

年齢別		合計	協会けんぽ	市町村国保又は 医師国保	加入していない	わからない	無回答
		(件)					
年齢別	全体	861 100.0	304 35.3	343 39.8	111 12.9	53 6.2	50 5.8
	30代	26 100.0	15 57.7	6 23.1	3 11.5	2 7.7	0 0.0
	40代	99 100.0	58 58.6	25 25.3	10 10.1	4 4.0	2 2.0
	50代	204 100.0	81 39.7	74 36.3	25 12.3	13 6.4	11 5.4
	60代	314 100.0	87 27.7	154 49.0	38 12.1	18 5.7	17 5.4
	70代	184 100.0	54 29.3	73 39.7	29 15.8	13 7.1	15 8.2
	80代以上	33 100.0	9 27.3	11 33.3	6 18.2	2 6.1	5 15.2
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

問30 1) 職員は社会保険に加入していますか

主な診療科目別		合計	協会けんぽ	市町村国保又は 医師国保	加入していない	わからない	無回答
		(件)					
主な診療科目別	全体	861 100.0	304 35.3	343 39.8	111 12.9	53 6.2	50 5.8
	内科	416 100.0	163 39.2	148 35.6	58 13.9	26 6.3	21 5.0
	精神・神経科	42 100.0	19 45.2	9 21.4	7 16.7	5 11.9	2 4.8
	小児科	44 100.0	20 45.5	17 38.6	6 13.6	0 0.0	1 2.3
	外科	28 100.0	8 28.6	13 46.4	3 10.7	2 7.1	2 7.1
	整形外科	91 100.0	32 35.2	36 39.6	11 12.1	2 2.2	10 11.0
	皮膚科	40 100.0	10 25.0	18 45.0	5 12.5	5 12.5	2 5.0
	泌尿器科	20 100.0	4 20.0	10 50.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0
	産婦人科	19 100.0	5 26.3	9 47.4	4 21.1	1 5.3	0 0.0
	眼科	44 100.0	9 20.5	25 56.8	6 13.6	3 6.8	1 2.3
	耳鼻咽喉科	55 100.0	13 23.6	30 54.5	5 9.1	3 5.5	4 7.3
	その他	45 100.0	17 37.8	21 46.7	1 2.2	3 6.7	3 6.7
	無回答	17 100.0	4 23.5	7 41.2	0 0.0	2 11.8	4 23.5

問30 2) 職員は公的年金制度に加入していますか

年齢別		合計	厚生年金に加入	国民年金に加入	加入していない	わからない	その他	無回答
		(件)						
年齢別	全体	861 100.0	484 56.2	125 14.5	101 11.7	98 11.4	4 0.5	49 5.7
	30代	26 100.0	17 65.4	3 11.5	3 11.5	3 11.5	0 0.0	0 0.0
	40代	99 100.0	66 66.7	12 12.1	10 10.1	9 9.1	0 0.0	2 2.0
	50代	204 100.0	108 52.9	42 20.6	20 9.8	24 11.8	0 0.0	10 4.9
	60代	314 100.0	176 56.1	42 13.4	39 12.4	39 12.4	3 1.0	15 4.8
	70代	184 100.0	96 52.2	23 12.5	26 14.1	19 10.3	1 0.5	19 10.3
	80代以上	33 100.0	21 63.6	3 9.1	3 9.1	3 9.1	0 0.0	3 9.1
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

問30 2) 職員は公的年金制度に加入していますか

	合計 (件)	厚生年金に加入	国民年金に加入	加入していない	わからない	その他	無回答
全体	861 100.0	484 56.2	125 14.5	101 11.7	98 11.4	4 0.5	49 5.7
内科	416 100.0	231 55.5	57 13.7	50 12.0	52 12.5	3 0.7	23 5.5
精神・神経科	42 100.0	23 54.8	3 7.1	8 19.0	6 14.3	1 2.4	1 2.4
小児科	44 100.0	28 63.6	6 13.6	8 18.2	0 0.0	0 0.0	2 4.5
外科	28 100.0	14 50.0	7 25.0	1 3.6	5 17.9	0 0.0	1 3.6
整形外科	91 100.0	60 65.9	8 8.8	10 11.0	6 6.6	0 0.0	7 7.7
皮膚科	40 100.0	17 42.5	10 25.0	6 15.0	6 15.0	0 0.0	1 2.5
泌尿器科	20 100.0	12 60.0	2 10.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	11 57.9	2 10.5	3 15.8	3 15.8	0 0.0	0 0.0
眼科	44 100.0	25 56.8	7 15.9	5 11.4	6 13.6	0 0.0	1 2.3
耳鼻咽喉科	55 100.0	29 52.7	13 23.6	4 7.3	5 9.1	0 0.0	4 7.3
その他	45 100.0	25 55.6	9 20.0	1 2.2	6 13.3	0 0.0	4 8.9
無回答	17 100.0	9 52.9	1 5.9	1 5.9	1 5.9	0 0.0	5 29.4

●職員の安定雇用のための取り組み

新型コロナ（2020年～）以降の労働力不足、最低賃金の上昇や仕事と家庭生活の両立等、処遇改善の取り組みが社会全体に浸透してきている。そのような状況下で、医療分野でも同様の回答が見て取れる。

2024年度改定では、職員の賃金上昇の取組を行った医療機関が算定できる「ベースアップ評価料」（要届出）が開始されたこともあって、全科とも「給与・諸

手当の改善」（79.2%）に回答が集中した。また、「休暇取得が取りやすい」（52.1%）、「超過勤務の削減」（30.5%）と続き、職員の働き方の改善に取り組んでいる回答が寄せられた。

前回調査（2004年）では、「福利厚生充実」の回答数が多かったが、今回は「収入増」、「仕事と家庭の両立がしやすい」への取組へと変化している。

問33 職員の安定雇用のために苦勞や努力されていること【複数回答可】

	合計 (件)	給与・諸手当 の改善	健康保険や厚 生年金の加入	休暇取得のし やすい環境整備	就業規則や給与 退職金規定の整備	福利厚生 の充実	超過勤務の 削減	その他	無回答
全体	861 100.0	682 79.2	286 33.2	449 52.1	234 27.2	259 30.1	263 30.5	32 3.7	30 3.5
内科	416 100.0	332 79.8	130 31.3	215 51.7	102 24.5	128 30.8	128 30.8	17 4.1	12 2.9
精神・神経科	42 100.0	32 76.2	12 28.6	23 54.8	13 31.0	10 23.8	18 42.9	4 9.5	2 4.8
小児科	44 100.0	35 79.5	18 40.9	26 59.1	11 25.0	13 29.5	15 34.1	3 6.8	2 4.5
外科	28 100.0	22 78.6	7 25.0	11 39.3	10 35.7	10 35.7	4 14.3	0 0.0	1 3.6
整形外科	91 100.0	73 80.2	37 40.7	47 51.6	30 33.0	24 26.4	26 28.6	1 1.1	5 5.5
皮膚科	40 100.0	26 65.0	11 27.5	13 32.5	5 12.5	10 25.0	11 27.5	2 5.0	3 7.5
泌尿器科	20 100.0	14 70.0	7 35.0	13 65.0	6 30.0	6 30.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	15 78.9	2 10.5	8 42.1	6 31.6	10 52.6	8 42.1	2 10.5	1 5.3
眼科	44 100.0	30 68.2	21 47.7	32 72.7	10 22.7	13 29.5	12 27.3	1 2.3	0 0.0
耳鼻咽喉科	55 100.0	49 89.1	20 36.4	31 56.4	18 32.7	16 29.1	16 29.1	1 1.8	2 3.6
その他	45 100.0	40 88.9	15 33.3	26 57.8	17 37.8	16 35.6	21 46.7	1 2.2	1 2.2
無回答	17 100.0	14 82.4	6 35.3	4 23.5	6 35.3	3 17.6	1 5.9	0 0.0	1 5.9

●今後の経営対策

物価高騰等厳しい経営環境が続く中、「経費節減」(54.8%)が最も多く寄せられ、次いで「職員の資質向上」(38.4%)、「患者サービス向上」(32.6%)が全科・全年齢ともに多く、医院経営の健全な運営に取り組む姿勢が見て取れる。

年齢別では、30～50代の世代で「自費診療の増加」を挙げる回答が高くなっている。その他、科目別の特徴として、内科・精神科は「医療のIT化の推進」、小児科は「新たな届出点数の検討」、外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、眼科では「新たな設備投資」と回答に差が出た。

問34 今後の経営対策として考えている事柄【複数回答可】

	合計 (件)	設備投資	職員の 増員	経費節減	職員の 資質向上	自費診療 の増加	経営コンサル 等との協力	患者サー ビス向上	新たな届出 点数の検討	医療のIT 化の推進	その他	無回答
全体	861 100.0	188 21.8	161 18.7	472 54.8	331 38.4	170 19.7	55 6.4	281 32.6	127 14.8	205 23.8	37 4.3	53 6.2
30代	26 100.0	10 38.5	9 34.6	15 57.7	11 42.3	13 50.0	6 23.1	10 38.5	3 11.5	4 15.4	1 3.8	1 3.8
40代	99 100.0	37 37.4	32 32.3	50 50.5	47 47.5	36 36.4	7 7.1	36 36.4	18 18.2	26 26.3	1 1.0	4 4.0
50代	204 100.0	51 25.0	57 27.9	107 52.5	90 44.1	54 26.5	12 5.9	85 41.7	38 18.6	56 27.5	5 2.5	8 3.9
60代	314 100.0	58 18.5	38 12.1	179 57.0	115 36.6	45 14.3	19 6.1	102 32.5	47 15.0	74 23.6	12 3.8	17 5.4
70代	184 100.0	28 15.2	21 11.4	104 56.5	55 29.9	22 12.0	10 5.4	44 23.9	18 9.8	42 22.8	13 7.1	19 10.3
80代以上	33 100.0	4 12.1	4 12.1	17 51.5	13 39.4	0 0.0	0 0.0	4 12.1	3 9.1	3 9.1	5 15.2	4 12.1
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問34 今後の経営対策として考えている事柄【複数回答可】

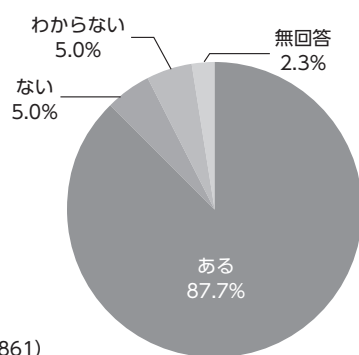
	合計 (件)	設備投資	職員の 増員	経費節減	職員の 資質向上	自費診療 の増加	経営コンサル 等との協力	患者サー ビス向上	新たな届出 点数の検討	医療のIT 化の推進	その他	無回答
全体	861 100.0	188 21.8	161 18.7	472 54.8	331 38.4	170 19.7	55 6.4	281 32.6	127 14.8	205 23.8	37 4.3	53 6.2
内科	416 100.0	87 20.9	66 15.9	233 56.0	158 38.0	89 21.4	26 6.3	136 32.7	65 15.6	99 23.8	22 5.3	23 5.5
精神・神経科	42 100.0	5 11.9	10 23.8	24 57.1	17 40.5	5 11.9	3 7.1	14 33.3	8 19.0	11 26.2	3 7.1	2 4.8
小児科	44 100.0	3 6.8	4 9.1	30 68.2	18 40.9	7 15.9	1 2.3	16 36.4	14 31.8	13 29.5	0 0.0	2 4.5
外科	28 100.0	8 28.6	7 25.0	11 39.3	12 42.9	5 17.9	3 10.7	8 28.6	5 17.9	8 28.6	1 3.6	2 7.1
整形外科	91 100.0	25 27.5	19 20.9	53 58.2	33 36.3	24 26.4	8 8.8	34 37.4	15 16.5	21 23.1	5 5.5	6 6.6
皮膚科	40 100.0	3 7.5	8 20.0	18 45.0	10 25.0	8 20.0	0 0.0	6 15.0	3 7.5	4 10.0	2 5.0	8 20.0
泌尿器科	20 100.0	6 30.0	6 30.0	9 45.0	8 40.0	4 20.0	0 0.0	7 35.0	3 15.0	6 30.0	0 0.0	0 0.0
産婦人科	19 100.0	5 26.3	3 15.8	8 42.1	7 36.8	2 10.5	0 0.0	7 36.8	2 10.5	6 31.6	0 0.0	2 10.5
眼科	44 100.0	12 27.3	11 25.0	23 52.3	16 36.4	9 20.5	4 9.1	14 31.8	2 4.5	5 11.4	1 2.3	3 6.8
耳鼻咽喉科	55 100.0	13 23.6	16 29.1	28 50.9	23 41.8	6 10.9	5 9.1	18 32.7	5 9.1	12 21.8	1 1.8	1 1.8
その他	45 100.0	18 40.0	9 20.0	22 48.9	22 48.9	9 20.0	5 11.1	16 35.6	5 11.1	17 37.8	1 2.2	2 4.4
無回答	17 100.0	3 17.6	2 11.8	13 76.5	7 41.2	2 11.8	0 0.0	5 29.4	0 0.0	3 17.6	1 5.9	2 11.8

(6) 審査・指導問題

●「減点」に関して

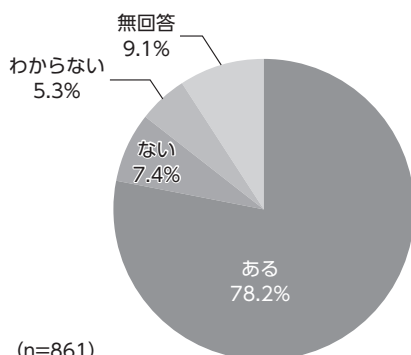
過去1年以内の減点経験では、「ある」としたのが支払基金、国保ともに一番多かったが、支払基金が87.7%と国保78.2%に対して、約10%多かった。「ない」としたのが基金で5.0%、国保で7.4%と大きな差はなかった。年間の件数は基金と国保の内訳で聞いていないが、「10件未満」が一番多く36.3%で、次に「10～29件」が28.2%、「50件以上」としたのが3番目で11.1%であった。

問 35 1) 過去1年以内に「減点」の経験がありますか(支払基金)



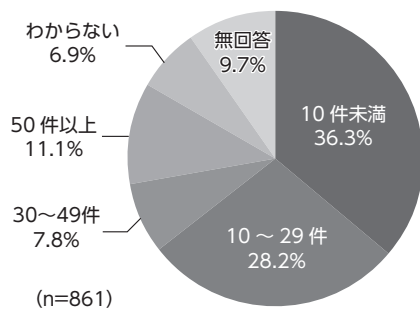
(n=861)

問 35 2) 過去1年以内に「減点」の経験がありますか(国保連)



(n=861)

付問 35-1 「減点」の件数(年間)をお教えください

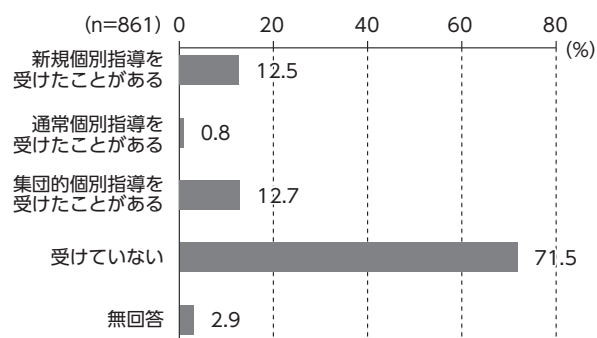


(n=861)

●過去5年以内に個別指導を受けたことがあるのか

過去5年以内に個別指導を受けたことがあるかどうかの回答では、「受けていない」としたのが71.5%と一番多く、新規個別指導・個別指導・集団的個別指導の実施件数から見て妥当な数字ではないかと思われる。

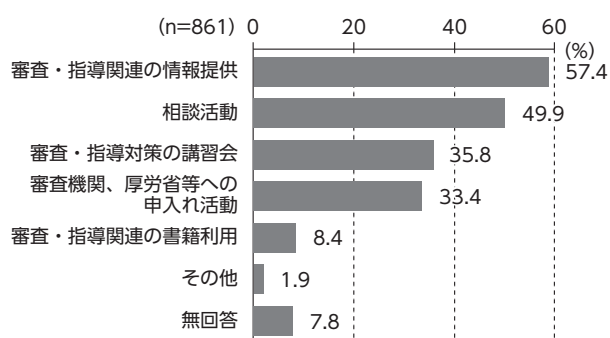
問 36 過去5年以内に個別指導を受けたことがありますか【複数回答可】



●審査・指導対策で今後、どのような活動を求めるのか

審査・指導対策で今後、どのような活動を求めるかの回答で一番多かったのが「審査・指導関連の情報提供」で57.4%、次いで「相談活動」49.9%、そして「審査・指導対策の講習会」35.8%、「審査機関、厚労省等への申し入れ活動」33.4%という結果になった。

問 37 保険医協会の審査・指導対策で今後、どのような活動を求めますか【複数回答可】

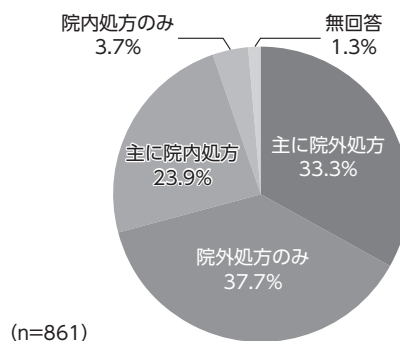


(7) 医薬品問題

●院内処方、院外処方の状況

「主に院外処方」、「院外処方のみ」が合計で71.0%、「主に院内処方」、「院内処方のみ」が合計で27.6%と7割が院外処方となっている。2004年の調査では院外処方が62.1%、院内処方が37.0%であったが、院外処方が増加している。年代別に見ると、70代以上では他の年代と比べ「主に院内処方」の割合が高くなっており、年齢層が低くなるにつれて院外処方が高くなる結果となった。

問 38 院内処方又は院外処方のいずれですか (注射薬以外)



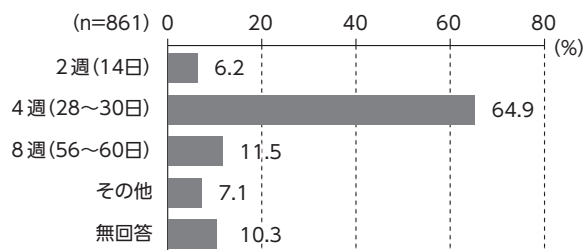
問38 院内処方又は院外処方のいずれですか (注射薬以外)

		合計 (件)	主に院外処方		主に院内処方		無回答
			院外処方のみ	院内処方のみ	院外処方のみ	院内処方のみ	
年齢別	全体	861	287	325	206	32	11
		100.0	33.3	37.7	23.9	3.7	1.3
	30代	26	8	14	4	0	0
		100.0	30.8	53.8	15.4	0.0	0.0
	40代	99	38	45	16	0	0
		100.0	38.4	45.5	16.2	0.0	0.0
	50代	204	71	91	40	2	0
		100.0	34.8	44.6	19.6	1.0	0.0
	60代	314	104	122	68	15	5
	100.0	33.1	38.9	21.7	4.8	1.6	
70代	184	53	47	67	11	6	
	100.0	28.8	25.5	36.4	6.0	3.3	
80代以上	33	12	6	11	4	0	
	100.0	36.4	18.2	33.3	12.1	0.0	
無回答	1	1	0	0	0	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

●処方日数

今回の調査から新設した項目。生活習慣病患者に対する処方日数 (内服薬) の典型例について、「4週 (28~30日)」が64.9%と多数を占め、「8週 (56~60日)」が11.5%と続いた。「2週 (14日)」が6.2%であったが、2024年診療報酬改定で特定疾患療養管理料 (月2回算定) が生活習慣病管理料 (月1回算定) に再編されたことによる影響も考えられる。かかりつけ医機能関連点数で、リフィル処方と長期処方に対応できる旨の院内掲示を要件化するなど、長期処方を推進する動きもあるなかで、診療報酬との関連も踏まえ、処方日数の変化について今後も見ていく必要がある。

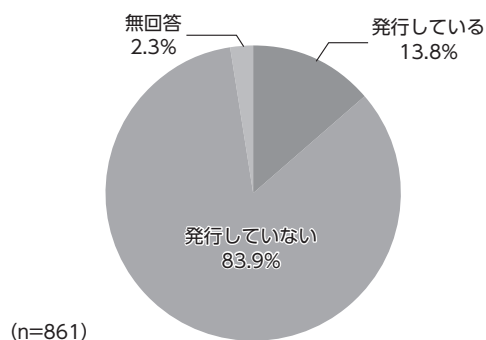
問 39 生活習慣病患者に対する処方日数 (内服薬) の典型例について、以下からお選びください



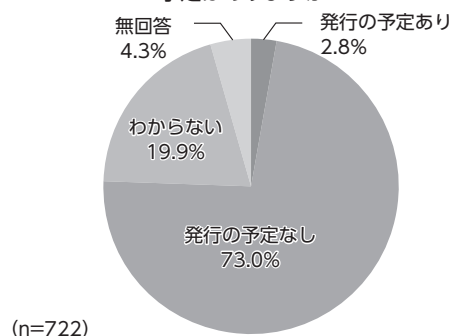
●リフィル処方箋

リフィル処方箋の発行状況については、「発行していない」が83.9%と年齢や診療科に関係なく、多くの

問 40 リフィル処方箋を発行していますか



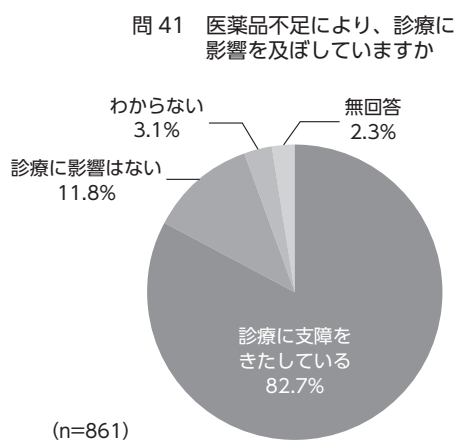
付問 40-1 今後リフィル処方箋を発行する予定はありますか



診療所が対応していない結果となった。今後の発行予定については、「予定なし」が73.0%、「わからない」が19.9%、「予定あり」はわずか2.8%に過ぎず、国のリフィル処方促進政策に反して、現場ではリフィル処方箋の必要性を感じていないと考える結果となった。今後、動向が変化していくのか注視していく。

●医薬品不足による診療の影響

2023年頃から深刻化している医薬品不足の状況について、「診療に支障をきたしている」が82.7%に及び、長期間に及ぶ深刻な医薬品不足が、診療科を問わず広く診療への影響を及ぼしている状況が伺える。早急な医薬品の安定供給を求める取り組みが望まれている。



(8) 医療保険制度、社会保障費

●国民皆保険制度の今後、選定療養・混合診療の拡大について

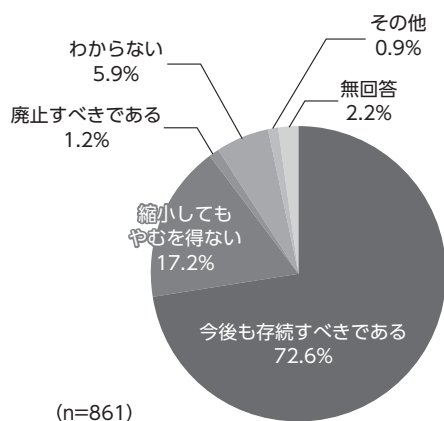
国民皆保険制度の今後について、「今後も存続すべき」(72.6%)が、「縮小してもやむを得ない」(17.2%)を大きく上回った。一方で、選定療養(保険導入を前提としない、例外的に認められた混合診療)の拡大について、「大いに賛成」「どちらかといえば賛成」が41.4%、「絶対に反対」「どちらかといえば反対」が37.8%、「どちらでもない」が18.5%と賛否が分かれた。年齢別では30～50代で賛成が反対を上回り、60～80代では反対が賛成を上回っており、年代により差異が見られた。

混合診療の拡大については、「賛成」が46.6%、「反対」が33.6%、「どちらでもない」が17.8%となった。選定療養と同様に30～50代に賛成が多い傾向が見られた。2004年の調査では「賛成」が20.0%、「反対」が65.0%となっており、反対が大きく減り、賛成が増加する傾向となった。

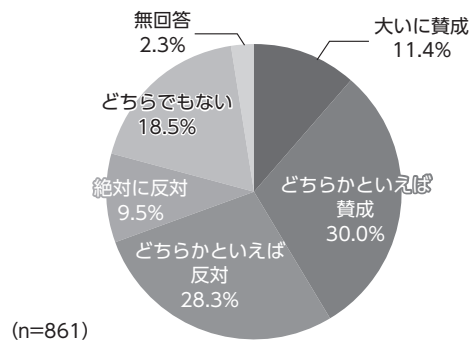
問34の「今後の経営対策として考えている事柄」

(→25頁)として、19.7%が「自費診療の増加」を挙げている点も踏まえると、診療報酬の度重なる引き下げ、物価高騰による経営状況の悪化により、保険診療による収入の厳しさが増し、保険外診療に流れる傾向が結果に表れたのではないと思われる。しかしながら、混合診療や選定療養が拡大されれば、保険給付範囲がさらに縮小され、保険外診療の民間保険への誘導、国民皆保険制度の崩壊へと繋がる。「必要かつ適切な医療は保険診療により確保する」との国民皆保険制度の理念を守り、保険診療で安定的な経営ができるよう、診療報酬の大幅な引き上げが求められる。

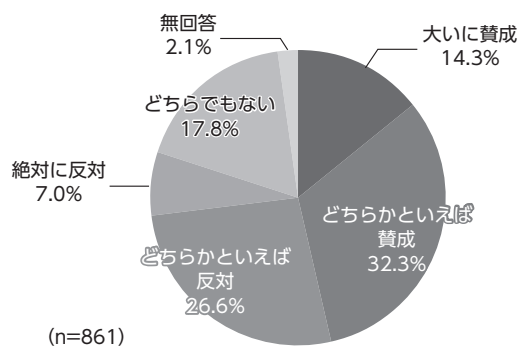
問 42 国民皆保険制度の今後について



問 43 選定療養が今後拡大していこうとする動きについて



問 44 混合診療の拡大について



問43 選定療養が今後拡大していかうとする動きについてどのようにお考えですか

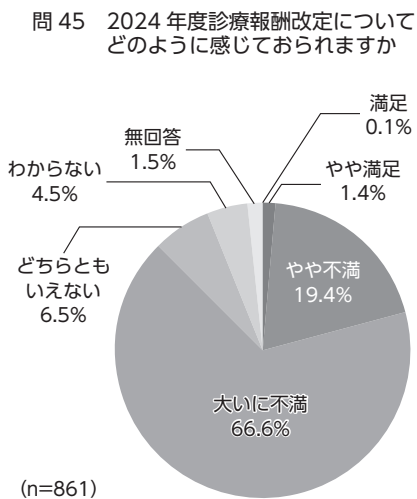
	合計 (件)	大いに賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	絶対に反対	どちらでもない	無回答	
年齢別	全体	861 100.0	98 11.4	258 30.0	244 28.3	82 9.5	159 18.5	20 2.3
	30代	26 100.0	10 38.5	10 38.5	3 11.5	0 0.0	3 11.5	0 0.0
	40代	99 100.0	27 27.3	34 34.3	16 16.2	4 4.0	16 16.2	2 2.0
	50代	204 100.0	22 10.8	67 32.8	55 27.0	13 6.4	47 23.0	0 0.0
	60代	314 100.0	23 7.3	93 29.6	105 33.4	35 11.1	51 16.2	7 2.2
	70代	184 100.0	13 7.1	50 27.2	51 27.7	27 14.7	33 17.9	10 5.4
	80代以上	33 100.0	2 6.1	4 12.1	14 42.4	3 9.1	9 27.3	1 3.0
	無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問44 混合診療の拡大についてどのようにお考えですか

	合計 (件)	大いに賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	絶対に反対	どちらでもない	無回答	
年齢別	全体	861 100.0	123 14.3	278 32.3	229 26.6	60 7.0	153 17.8	18 2.1
	30代	26 100.0	9 34.6	10 38.5	3 11.5	0 0.0	4 15.4	0 0.0
	40代	99 100.0	32 32.3	31 31.3	16 16.2	2 2.0	18 18.2	0 0.0
	50代	204 100.0	27 13.2	79 38.7	46 22.5	8 3.9	44 21.6	0 0.0
	60代	314 100.0	35 11.1	98 31.2	98 31.2	23 7.3	53 16.9	7 2.2
	70代	184 100.0	16 8.7	57 31.0	51 27.7	25 13.6	25 13.6	10 5.4
	80代以上	33 100.0	3 9.1	3 9.1	15 45.5	2 6.1	9 27.3	1 3.0
	無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(9) 診療報酬改定

2024年度診療報酬改定の評価について、「大いに不満」(66.6%)、「やや不満」(19.4%)となり、86.0%が改定への不満を訴えた。医療機関の経営実態を踏まえない6期連続のマイナス改定(-0.12%)となり、特定疾患療養管理料から生活習慣病管理料への再編、処方箋料や特定疾患処方管理加算の引き下げを始め、汎用点数の引き下げによる減収等により、大きな不満の声になっているものと思われる。



(10) 医療DX

●電子カルテの導入

電子カルテの導入状況について、「導入している」が68.2%、「導入していない」が31.4%となった。年齢別では、30～60代は「導入している」割合が高く、70代以上は「導入していない」割合が高い結果となった。診療科別では、眼科が「導入していない」割合が77.3%と高くなっている。

今後の導入予定は、「予定あり」(13.0%)、「予定なし」(63.3%)、「わからない」(22.2%)と導入を予定

していない医療機関が多い結果となっている。2025年12月の医療法改定により、法律に電子カルテの普及率100%の政府目標が明記されたが、今後医療現場を無視した過度な医療DXの推進を阻止する取り組みが求められる。

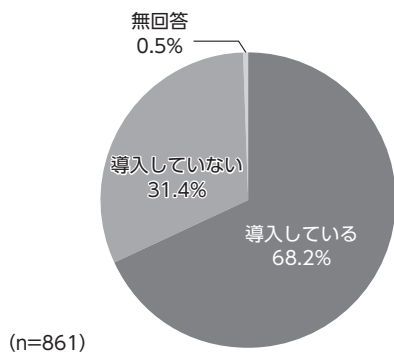
問46 電子カルテを導入されていますか

	合計 (件)	導入 している	導入 していない	無回答
全体	861	587	270	4
	100.0	68.2	31.4	0.5
年齢別				
30代	26	25	1	0
	100.0	96.2	3.8	0.0
40代	99	90	9	0
	100.0	90.9	9.1	0.0
50代	204	176	27	1
	100.0	86.3	13.2	0.5
60代	314	207	105	2
	100.0	65.9	33.4	0.6
70代	184	78	105	1
	100.0	42.4	57.1	0.5
80代	33	10	23	0
以上	100.0	30.3	69.7	0.0
無回答	1	1	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0

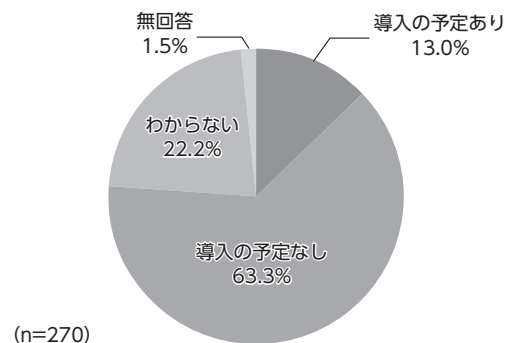
問46 電子カルテを導入されていますか

	合計 (件)	導入 している	導入 していない	無回答
全体	861	587	270	4
	100.0	68.2	31.4	0.5
主な診療科目別				
内科	416	291	123	2
	100.0	70.0	29.6	0.5
精神・神経科	42	33	8	1
	100.0	78.6	19.0	2.4
小児科	44	37	7	0
	100.0	84.1	15.9	0.0
外科	28	20	8	0
	100.0	71.4	28.6	0.0
整形外科	91	67	24	0
	100.0	73.6	26.4	0.0
皮膚科	40	23	17	0
	100.0	57.5	42.5	0.0
泌尿器科	20	18	2	0
	100.0	90.0	10.0	0.0
産婦人科	19	12	7	0
	100.0	63.2	36.8	0.0
眼科	44	10	34	0
	100.0	22.7	77.3	0.0
耳鼻咽喉科	55	31	23	1
	100.0	56.4	41.8	1.8
その他	45	38	7	0
	100.0	84.4	15.6	0.0
無回答	17	7	10	0
	100.0	41.2	58.8	0.0

問 46 電子カルテを導入されていますか



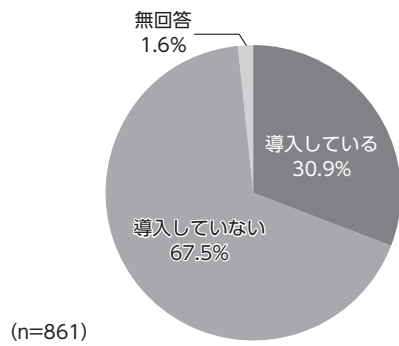
付問 46-1 今後導入の予定はありますか



●電子処方箋の導入

電子処方箋の導入状況は、「導入している」が30.9%、「導入していない」が67.5%と未導入の方が多い現状となっている。また今回の調査では聞いていないが、システムとして導入している場合でも、実際に運用している事例は少ないのではないと思われる。年齢別では唯一30代において、導入している割合の方が高い結果となった。今後の導入予定については、「予定あり」が19.6%、「予定なし」が52.8%、「わからない」が25.5%となり、導入に前向きな回答は少なかった。

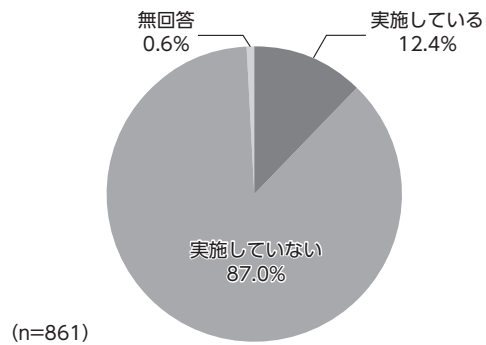
問 47 電子処方箋を導入されていますか



●オンライン診療の実施

オンライン診療の体制について、「実施している」が12.4%、「実施していない」が87.0%と年代を問わず9割近くの医療機関が実施していない結果となった。今後の実施予定は、「予定あり」が5.6%、「予定なし」が70.9%、「わからない」が19.5%となっている。コロナ禍で診療報酬上のオンライン診療の届出医療機関は増加したものの、実施しておらず、今後予定もないとの回答が今回の調査結果では多かった。電子カルテ同様、政府はオンライン診療をさらに推進しようとしているが、調査結果からは積極的に実施する動きは見られなかった。

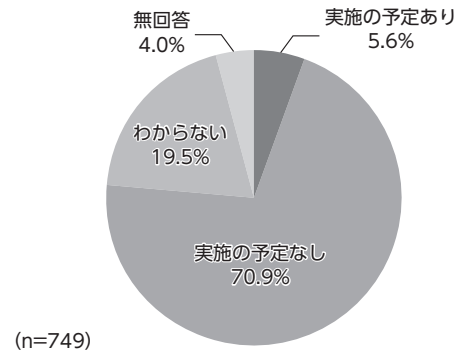
問 48 オンライン診療を実施されていますか



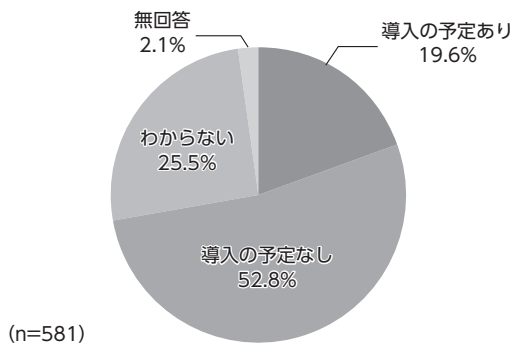
問47 電子処方箋を導入されていますか

年齢別	問47 電子処方箋を導入されていますか			
	合計 (件)	導入している	導入していない	無回答
全体	861	266	581	14
	100.0	30.9	67.5	1.6
30代	26	15	11	0
	100.0	57.7	42.3	0.0
40代	99	43	55	1
	100.0	43.4	55.6	1.0
50代	204	88	114	2
	100.0	43.1	55.9	1.0
60代	314	86	224	4
	100.0	27.4	71.3	1.3
70代	184	31	147	6
	100.0	16.8	79.9	3.3
80代	33	2	30	1
以上	100.0	6.1	90.9	3.0
無回答	1	1	0	0
	100.0	100.0	0.0	0.0

付問 48-1 今後実施の予定はありますか



付問 47-1 今後導入の予定はありますか



(11) 保険医協会の共済制度について

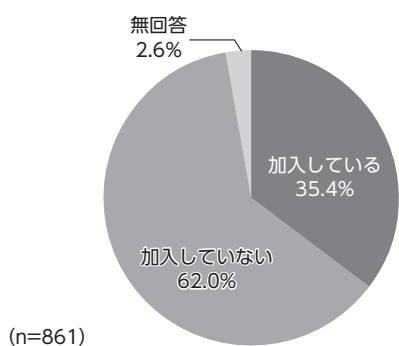
●保険医年金の加入について

回答者の中で、『保険医年金』へ加入している人が35.4%、未加入者が62.0%であった。加入している人の加入理由は多い順から、①「公的年金だけでは不安」50.2%、②「他制度に比べ利回りがよい」40.3%、③「自在性（解約・中断・減口が自由）がある」39.0%であった。一方、保険医年金に加入していない理由では、①「他の金融商品を利用している」29.0%、②「余裕がない」17.5%、③「医師年金に加入し

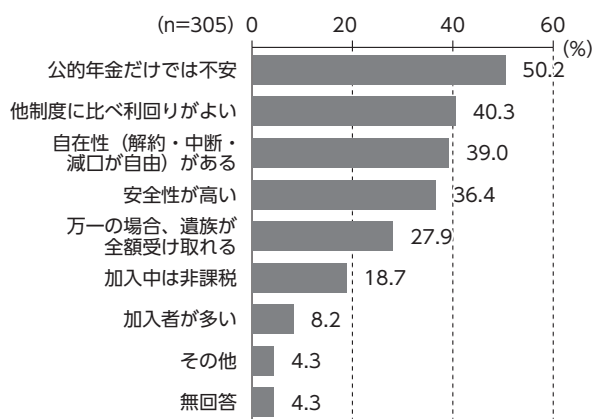
ている」12.4%の順だった。

20年前の調査では、「余裕がない」が約29%で1位だったことに比べ、今回は「他の金融商品を利用している」が1位であった。このことは、物価高騰・人件費高騰、低診療報酬政策などによる危機的な医療経営状況の中で、会員の資産形成に対する関心が、高リスク・高リターン金融商品に転化していることが判る。今後は、保険医年金の健全性・安定性の高さ並びに自在性をより一層強調して普及を進めていきたい。

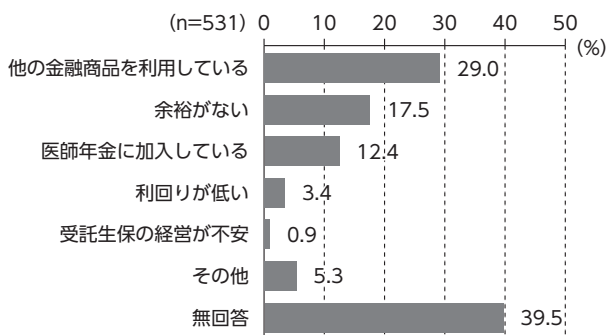
問 49 保険医年金の加入について



付問 49-1 加入している理由をお選びください【複数回答可】



付問 49-2 加入していない理由をお選びください【複数回答可】



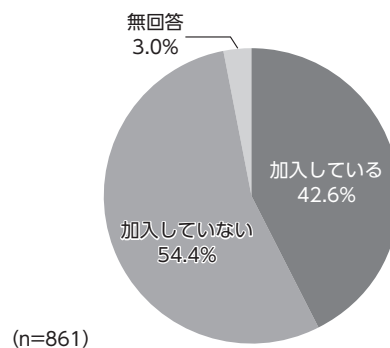
●保険医休業保障制度の加入について

『保険医休業保障制度』に関しては、回答者の42.6

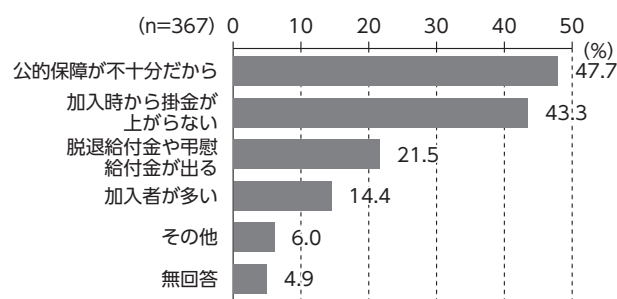
%が加入しており、その理由は、①「公的保障が不十分だから」47.7%、②「加入時から掛金が上がらない」43.3%、③「脱退給付金や弔慰給付金が出る」21.5%の順だった。未加入者の理由では、①「余裕がない」25.9%、②「生保商品（医療・疾病保険）に加入している」24.8%、③「損保商品（所得補償）に加入している」21.4%であった。

20年前の調査では、「損保商品（所得補償）に加入している」が約13%であったのが、今回は21.4%に上昇していた。また、休業保障はいざという際に備える必須の制度といえるが、近年の極めて厳しい医療経営状況を反映して余裕がなく未加入という人が約26%にもものぼることは、非常に憂慮すべきことと考える。近年、疾病リスクが若年化していることに鑑み、掛金が安い若い時からの加入を勧めたい。具体的には、新規入会者へのアプローチの徹底や、他管掌との情報共有など、連携を強化して普及に取り組んでいく。

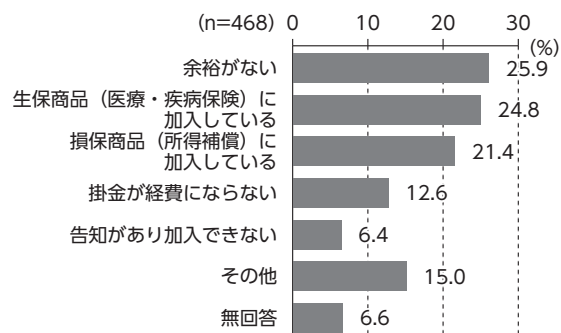
問 50 保険医休業保障共済保険の加入について



付問 50-1 加入している理由をお選びください【複数回答可】



付問 50-2 加入していない理由をお選びください【複数回答可】



(12) 保険医協会の諸事業について

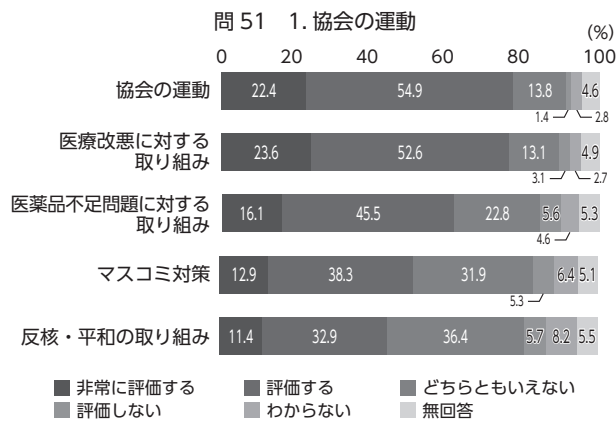
今後の取り組みの参考とするため、協会の諸事業について評価を聞いている。以下、「協会の運動に対する評価」、「協会の事業活動に対する評価」、「協会に対する自由意見」について記載する。

●協会の運動について

協会の運動全般については、「非常に評価する」「評価する」との回答が77.3%となっている。協会の基本的な方向性や存在意義については、「診療報酬の理不尽な改悪と、意味不明な審査・査定への対抗組織として大きくなってほしい」とような自由意見からも見えるように、会員から一定の理解と支持が得られているといえる。

マスコミ対策については51.2%が「評価する」とし、自由意見欄で開業医バッシングなどの反論への期待に言及されていることから、マスコミ懇談会などで現場の実状等を伝え、報道に反映させる努力は評価されていると考える。

反核・平和の取り組みについては「評価する」と「どちらともいえない」が拮抗している。これは会員の価値観の多様性を反映した結果と考えられる。この点、明確な否定は少数にとどまっており、協会の社会的姿勢として一定の理解は得られていると考えられる。



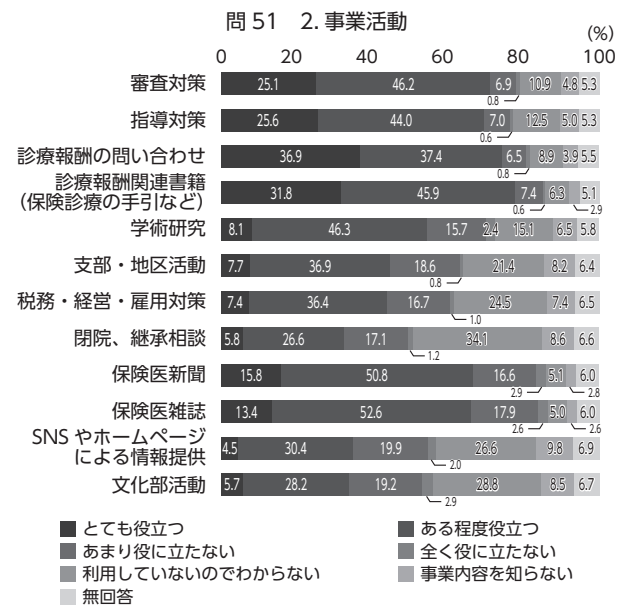
●協会の事業活動について

審査対策、指導対策、診療報酬の問い合わせなどの実務支援事業については、肯定的評価が概ね8割と他の分野と比べて高く、協会事業の中核的機能であることが数字上からも確認できる。また、学術研究分野についても過半数からの「役立つ」との評価を得ている点から、会員の日常診療のサポートとして一定利用されていることがうかがえる。

支部・地区活動については活発に学習会企画や支部ニュースの発行等をしている支部と活動が止まっている支部など、活動形態がバラバラで「役立つ」という回答は現状活動している支部活動への評価と考えられる。今後、支部会議の活発化や地域の世話人や評議員の発掘等が課題となっている。

税務・経営・雇用対策への評価も、個別相談や学習会等の利用経験のある会員からの評価と考えられる。この分野の相談は点数相談等と違って日常的に発生するものではなく、協会にこのような相談ができることがすぐに思い浮かばない会員もいると思われる為、当該事業の広報が必要と考える。

保険医新聞・保険医雑誌については約65%が「とても役立つ」「ある程度役に立つ」との評価をしており、紙媒体による情報提供は引き続き有効であることを示している。ただし、新聞・雑誌共に「あまり役に立たない」との回答が約20%あり、SNSやホームページによる情報提供と併せて今後の情報発信について検討が必要である。



●協会に対するご意見

今後協会に取り組んで欲しい新たな事業について伺ったところ、現在取り組んでいる事業や医療機関の厳しい現状、協会に対するご意見など、多種多様な意見が寄せられた。項目別に主な意見を記載する。

① 新たな事業や現事業への要望

(求人、人材紹介の事業)

- 管理医師、勤務医師を紹介してほしい
- 職員求人仲介
- 人手不足対策、看護師、医療事務の斡旋
- 看護師、受付等の一括採用。紹介業者の手数料が高いので、その会社の代わりを比較的安い料金で担っていただければ皆良いと考えるのではないか

(医療DX化に対応する為の相談、研修)

- 電子化への支援
- 医療DXへ追随するための取り組み、具体的広報や相談員業務
- DX化について具体的相談によって下されると助かると思います。当院はマイナ保険証義務化対象外です。スマホでマイナカードを読み取り保険情報を得るシステムです。厚労省としてはいやいやこのシステムを作ったので、案内が大変不適切で導入に苦労しました（ベンダーもないのですべて自分でせねばならずITオンチにはハードル高、その上厚労省のヘルプデスクにTELしても具体的導入の仕方は知らない。ここでは答えられない。どこに相談するべきかも知らんと、言われました）
- デジタル化やマイナンバーカードの普及を、後ろ向きに捉えるのではなく前向きに捉えた研修（医院スタッフのレベルアップや院長のデジタル研修等）をしてほしい。現場負担が一時増加したとしてもIT化なしに医療の生産性向上はなく、ITを拒絶し続けていたとしても時代には取り残される

(審査・指導対策、診療報酬関連)

- 審査や指導対策に関する事業を充実させてほしい
- 保険点数、医療事務等の講習会や接遇研修をさらに拡充してほしい
- 不当なレセ払戻対策をぜひお願いしたいです
- 届出の資格、申請様式が特に分からない。本でもあれば…
- 理不尽な減点対策。冬にインフル1月時PCRを大量減点された。社保のみ。しかもある1ヶ月だけ！上記の件で取り組んでいる事を教えて下さい。今までの取り組みに関心が無かったので
- 診療報酬対策に今後も力を入れて対策をお願いします
- 診療報酬改定の際に見落としがちなことをアナウン

スしたり、オンデマンド講習会を開いてほしい

- 医療費対策問題

(その他)

- 継承相続の支援
- 薬の安全供給
- 病診連携のありかた
- 地球環境、気候変動などの問題、地域医療の今後
- 医療機器、医療用PCなどの廃棄処分
- スタッフ向けの医療知識の向上。新人研修を保険医協会がしてほしい
- 労務相談
- クレーマー、モンスターペイシエントなど、院内トラブルの解決への相談窓口が常にあるといい
- 国の補助金を活用するための講座。社労士には、助成金の内容等（あたりまえと思っていたスタッフへの子育て応援が補助金への対象なることを知らない方も多いのでは？）
- AI、お金の勉強
- 将棋教室
- 枚方支部が以前行っていた大阪の歴史を尋ねるを復活してほしい
- タバコ対策
- 旅行関係の紹介

② 協会への要望、自由意見

(医院の経営状況、診療報酬等に対するご意見)

- 高血圧、糖尿病、脂質異常症の管理料が生活習慣病管理料に変更になったことによる内科医の収入減についての調査やそれに対する国の働きかけを
- インフレが進行して経営を圧迫しています。我々の賃金（診療報酬）は減らされる一方で、インフレ率に比例した上昇にはなっていません。この部分が非常に理不尽と考えます、診療報酬の改善に対する取り組みをお願いいたします
- 物価高、消耗費の増加、人件費増加しているにもかかわらず診療報酬は上昇せず、経営が非常に苦しい。政府への働きかけをお願いします
- 将来は暗い。保険点数削減のため設備投資も困難。人件費、固定費の増大により借金を要する、厳しい。各種免許は持っていても基礎知識無くすぐに辞める、どうにもならない
- 診療報酬の理不尽な改悪と、意味不明な審査・査定への対抗組織として大きくなってほしい
- 医師会と協力して初・再診料（医師の技能料）の大幅値上げを
- 保険点数改悪の阻止、理不尽な保険査定へのメスと対策

- 今後は、いかに経営を続けていくかが、問題となる
- 診療報酬の引き上げ
- とにかく医療は成長産業である。点数を2倍にするべき！！

(医療政策に対する取り組みへのご意見)

- 言われるがままの医療政策には納得出来ません。医師会では出来ないやり方をする。もっと医師会に働きかけてもいいと思う
- 「医者は儲かる」というような風説への対策
- 開業医が優遇されている。医者は過剰に利益を得ている等の世間の誤解をあらためるような発信をして頂きたい。保険証の復活をお願いしたい
- 保険医ストライキの実施
- 署名活動ばかりしないでストなども断続的に組織していく必要あり。価値観が多様化しているが開業医の保護、病院の充実が国民の生活に必須であることを意思統一して具体的に政府、財務省、厚労省に改善をはかるように訴え続ける事。国民保険制度を維持するために何が重要なのかを解明するチームを作って、その政策を様々なルートから発表し世論を盛り上げる事業を作ってほしい
- 医療費の増加に対して診療報酬の改訂以外の対策をお願いしたい
- 日本は高福祉国家になっていると思うが、国民は更なる医療や介護を要求する社会保険料を減らして高福祉を維持するのは困難であると思う
- 保険治療の継続と拡大にむけて尽力いただきたい
- とにかく患者さんの診療以外に時間労力を費やしたくない。IT化になりどんどん減っている。今は、パソコンみながら診療になり患者さんをちら見になる。もう皆保険やめて、金持ちは自費、一般は医師設定の支払基金にしてほしい。パソコンは見たくない、人を見たい！！
- 物価が上昇すれば、診療報酬も薬価も上げるのが当たり前だと思うのですが。とくに、古くから使われている安価で使いやすい薬を、薬価を下げる（物価高の分の引き上げをしない）ことで採算割れにして、製薬会社が製造中止にせざるおえない、なんてことは避けてほしい。地道に頑張ってくれてる製薬会社の実情なども訊いてみるのも興味深いと思います。現場を知らない（知ろうとしない）厚労省ですよ
- 消費税分を請求できるようにしてほしい
- 中医協への参加（法律上の制限はないので、野党厚労大臣が出現した場合は可能では？）
- 近畿厚生局への訴訟を頻繁に行う

(協会活動に対するご意見)

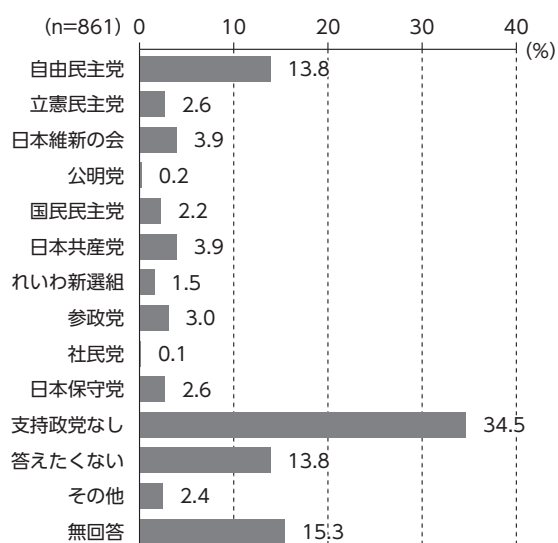
- 月会費が高すぎて脱会を検討中。署名活動に費用をかけすぎています
- 署名活動が多すぎる。結果もわからないし効果があったのか否かも不明瞭
- 保険医協会の活動は他罰的で悪い事は全て政治・社会・患者の責任にしているように見える。社会保障費高騰の大きな原因は医者奔放な医療費の無駄使いであり、それが為に医療費が削減されようというのに自ら省みる姿勢が見られない。どうか適正な医療が推進されるよう医者を律するような事業を。そしてそのアピールを
- 反核、反戦活動は当組合は向かない。他の政治団体に任せるべきでは。不良品、欠陥製品を販売する業者への対応を、援助して欲しいです
- 協会職員が、各地を担当して、せめて年に1～2度は医院、病院訪問されてはいかがですか。入会以来1度も訪問がない。会費の徴収、カンパの訴え、選挙カンパの訴え等新聞他、紙面要請だけでなく、一度、訪問されてはいかがですか。各医院、病院の訪問で、実情を学習されてはいかがでしょう？！
- 政治的な活動紹介
- 戦う保険医協会！
- 政府、組合がどの程度評価、無視していいのか判らない
- いつも思いますがこのようなアンケートも実施して下さりそれも手書き可が泣ける。日本医師会のアンケートはオンラインのみで企業任せ。文句を書きたかったのに自由記入欄なし。保険医協会はずごい親身になってくれる
- 相談に対するTELが繋がりにくいが、開業医の強い味方で日々感謝してます！

(13) 政党支持について

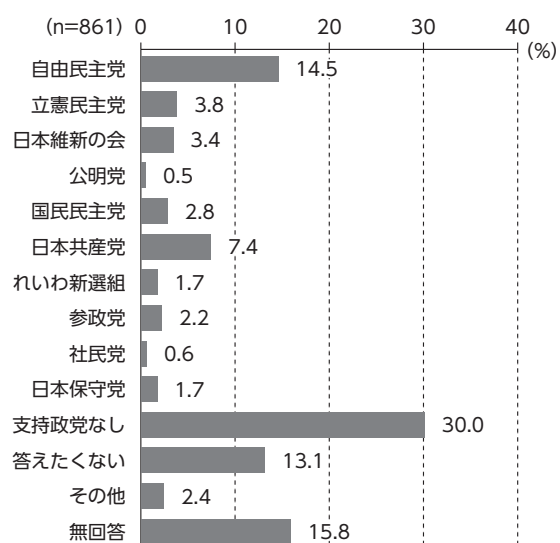
支持政党について、「無回答」と「答えたくない」を除くと、「支持政党なし」が34.5%と一番多く、「自由民主党」13.8%に、その他政党が4%以下で続く形となり、自身が考える医療政策が一番近い政党についても同様の結果となっている。2004年の調査結果で

は、「支持政党なし」43%、「自由民主党」18.5%、「民主党」16.3%であったが、政権交代や政党の再編を経て、今回の調査では各政党に分散する結果となった。とりわけ大阪で議席を獲得してきた「日本維新の会」は3.9%と、「日本共産党」3.9%、「参政党」3.0%、「立憲民主党」2.6%、「日本保守党」2.6%と大差のない結果となった。

問 54 支持政党はどこですか



問 53 ご自身が考える医療政策が一番近い政党はどこですか



付録 1

2025年度 開業医の意識と実態に関する調査票

会員各位

大阪府保険医協会

2025年度 開業医の意識と実態に関する調査票

調査企画
大阪府保険医協会
政策調査部

●回答方法

▽アンケートの回答は当調査票にご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返送いただくか、下記URL又はQRコードよりWEB回答も受け付けておりますので、いずれかの方法により回答をお願いします。



▽WEB回答はこちら <https://x.gd/xdTHq>

●ご記入についてお願い

▽回答は該当する項目の前の番号を○印で囲んでください。
▽質問の末尾に【複数回答可】の指示がない限り、全て単数回答です。
▽全ての項目に回答できなくても構いませんので、お答えできる範囲内で回答下さい。
▽質問数は約50問（所要時間約10分）です。

●回答の集計と報告にあたって

▽回答いただいた方の個人情報厳守し、当アンケート調査の目的以外に使用することはありません。
▽調査結果は、今年末までに「調査報告書」としてご報告申し上げます。

●締切日

▽締切日は **8月31日（日曜日）** となっております。

<問合せ先>

大阪府保険医協会 政策調査部 担当：平井・坂元・中村

〒556-0021 大阪府浪速区幸町2-20清光ビル4階

電話：06-6568-7721 FAX：06-6568-2389

(1) 先生ご自身と院所

問1 性別

- ① 男性
- ② 女性
- ③ 回答しない

問2 年齢

- ① 20代
- ② 30代
- ③ 40代
- ④ 50代
- ⑤ 60代
- ⑥ 70代
- ⑦ 80代以上

問3 主な診療科目（1つのみ）

- ① 内科
- ② 精神・神経科
- ③ 小児科
- ④ 外科
- ⑤ 整形外科
- ⑥ 皮膚科
- ⑦ 泌尿器科
- ⑧ 産婦人科
- ⑨ 眼科
- ⑩ 耳鼻咽喉科
- ⑪ その他

問4 院所形態

- ① 無床診療所
- ② 有床診療所

問5 院所の所在地

- ① 大阪市内
- ② 北大阪（吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町、高槻市、茨木市、摂津市、島本町、枚方市、交野市、守口市、寝屋川市、門真市、大東市、四條畷市、東大阪市、八尾市）
- ③ 南大阪（堺市、相原市、河内長野市、松原市、大阪狭山市、藤井寺市、羽曳野市、富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村、高石市、和泉市、泉大津市、岸和田市、具塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、忠岡町、岬町、熊取町、田尻町）
- ④ その他

問6 院所の建物

- ① 戸建て
- ② ビルテナント（医療モール）
- ③ ビルテナント（単独ビル診）
- ④ マンションの一室
- ⑤ その他

問7 開業年数

- ① 5年未満
- ② 5～9年
- ③ 10～14年
- ④ 15～19年
- ⑤ 20～29年
- ⑥ 30年以上

問8 診療所を開業した際は「新規開業」でしたか、それとも「承継開業」でしたか

①新規開業
②承継開業（親族内承継）
③承継開業（第三者承継）
④その他（ ）

問9 今後、診療所を承継する予定はありますか

①予定あり（親族内承継）
②予定あり（第三者承継）
③予定なし
④わからない
⑤その他（ ）

問10 自院の医師数について教えてください

①常勤医師数（ ）名
②非常勤医師数（ ）名

問11 診療所の運営形態

①個人
②医療法人（→付問11-1へ）
③その他（ ）

付問11-1 上記設問に「②医療法人」とされた先生にお聞きします。開業して約何年目で法人化しましたか

①開業時から
②5年未満
③5～9年
④10～14年
⑤15～19年
⑥20年以上
⑦わからない

問12 診療所（開業医）をやめようと考えたことはありますか

①ある（→付問12-1へ）
②ない
③回答しない

付問12-1 上記設問に「①ある」とされた先生にお聞きします。その理由は何か【複数回答可】

①経営難
②雑務が多い
③患者減
④高齢・体力の限界
⑤医療DXについていけない
⑥これ以上の設備投資が困難
⑦他にしたいことがある
⑧その他（ ）

問13 医療情報はどこから入手していますか【複数回答可】

①医師会
②保険医協会
③学会
④MRなど製薬企業
⑤業界紙
⑥医師向け情報サイト（M3等）
⑦他の医師、医療従事者との情報交換
⑧その他（ ）

付問13-1 上記設問で回答したもののうち最も利用している情報入手先を1つだけお選びください

①医師会
②保険医協会
③学会
④MRなど製薬企業
⑤業界紙
⑥医師向け情報サイト（M3等）
⑦他の医師、医療従事者との情報交換
⑧その他（ ）

4

問14 普段どのようなSNSを利用していますか【複数回答可】

①LINE
②YouTube
③X（Twitter）
④Instagram
⑤TikTok
⑥Facebook
⑦その他（ ）

付問14-1 上記設問で回答したもののうち最も利用しているSNSを1つだけお選びください

①LINE
②YouTube
③X（Twitter）
④Instagram
⑤TikTok
⑥Facebook
⑦その他（ ）

(2) 日常診療

問15 1日の平均外来患者数(全日診療の場合)

①10人未満
②10～29人
③30～49人
④50～74人
⑤75～99人
⑥100～149人
⑦150～199人
⑧200～249人
⑨250～299人
⑩300人以上
⑪わからない

問16 先生自身の1週間の総労働時間（診療以外の労働時間も含む）は週当たりどれくらいですか

①30時間未満
②30～39時間
③40～49時間
④50～59時間
⑤60時間以上

問17 1週間の休診日数（日曜も含み、午前・午後を各半日として計算してください）

①なし
②0.5日
③1日
④1.5日
⑤2日
⑥2.5日
⑦3日
⑧3.5日
⑨4日
⑩4.5日
⑪5日以上

問18 全日の休診日をいずれの日曜日に設定されていますか【複数回答可】

①月曜日
②火曜日
③水曜日
④木曜日
⑤金曜日
⑥土曜日
⑦日曜・祝日

問19 他の医療機関で短時間勤務（非常勤）をしていますか

①している（→付問19-1へ）
②していない

付問19-1 上記設問に「①している」とされた先生にお聞きします。その理由を以下からお選びください【複数回答可】

①手術や特殊検査等、技術の発揮のため
②地域の病院と繋がりを作るため
③収入減を補うため
④依頼元からの要望のため
⑤その他（ ）

5

問20 2025年7月診療分の診療報酬明細書
(しせつ)「総件数」

- ① 1～99件
- ② 100～199件
- ③ 200～299件
- ④ 300～399件
- ⑤ 400～499件
- ⑥ 500～599件
- ⑦ 600～699件
- ⑧ 700～799件
- ⑨ 800～899件
- ⑩ 900～999件
- ⑪ 1000件以上
- ⑫ わからない

問21 コロナ禍(2020年4月～2023年3月末)
以降の患者数の動向

- ① 患者数は戻った
- ② 患者数は減ったまま
- ③ 患者数は増えた
- ④ 影響はなかった
- ⑤ わからない

問22 総収入に対する自由診療の割合につ
いて以下からお選びください

- ① 1割未満
- ② 1割
- ③ 2割
- ④ 3割
- ⑤ 4割
- ⑥ 5割
- ⑦ 6割
- ⑧ 7割
- ⑨ 8割以上
- ⑩ わからない

(3) 在宅医療・介護保険事業

問23 往診や訪問診療を実施されています
か

- ① 実施している (→付問23-1・23-2へ)
- ② 実施していない (→付問23-3へ)

付問23-1 上記設問に「①実施している」と
とされた先生にお聞きします。往診
や訪問診療の平均件数をお
選びください(1月あたり)

- ① 10件未満
- ② 10～49件
- ③ 50～99件
- ④ 100件以上

付問23-2 上記設問に「①実施している」と
された先生にお聞きします。往診
や訪問診療を実施している院所か
らの範囲(←筆頭)をお選びください

- ① 半径2km以内
- ② 半径3～5km以内
- ③ 同一市区町村内
- ④ 隣接の市区町村内
- ⑤ 16km以内

付問23-3 上記設問に「②実施していな
い」とされた先生にお聞きし
ます。今後の往診や訪問診療
の実施予定はありますか

- ① 要請があれば実施する
- ② 必要性は感じるが対応できない
- ③ 必要性を感じない
- ④ わからない

問24 介護保険事業を実施していますか

- ① 実施している
- ② 実施していない
- ③ わからない

(4) 院所経営と税務の現状

問25 院所の昨年度(2024年度)総収入額
(水揚げ額)をお教えください

- ① 2000万円未満
- ② 2000～4000万円未満
- ③ 4000～6000万円未満
- ④ 6000～8000万円未満
- ⑤ 8000～1億円未満
- ⑥ 1億～1億3000万円未満
- ⑦ 1億3000万～1億6000万円未満
- ⑧ 1億6000万～1億9000万円未満
- ⑨ 1億9000万～2億2000万円未満
- ⑩ 2億2000万～2億5000万円未満
- ⑪ 2億5000万～3億円未満
- ⑫ 3億～4億円未満
- ⑬ 4億円以上
- ⑭ わからない

問26 院所の昨年度の税申告形態

- ① 一人医療法人
- ② 青色(実額)
- ③ 青色(4段階)
- ④ 白色(実額)
- ⑤ 白色(4段階)
- ⑥ 医療法人
- ⑦ わからない
- ⑧ その他()

問27 院所は消費税の課税事業者ですか

- ① 課税事業者である
- ② 非課税事業者である
- ③ わからない

問28 院所の家賃・広告料

家賃(共益費込み): () 円/月)
広告費用の全体額: () 円/年)

問29 税務経営対策活動で今後、どのような
取り組みを希望されますか【複数回答可】

- ① 記帳の仕方
- ② 税金の基礎知識
- ③ 税務調査対策
- ④ 相続・贈与対策
- ⑤ 経営分析
- ⑥ 医療法人の設立・運営
- ⑦ 従業員の採用・教育
- ⑧ 賃金問題
- ⑨ 労務対策
- ⑩ 医療税制・経営にかかわる情勢

(5) 従業員の状況

問30 職員は社会保険や公的年金制度に
加入していますか

- 1) 医療保険に加入
 - ① 協会けんぽ
 - ② 市町村国保又は医師国保
 - ③ 加入していない
 - ④ わからない
- 2) 公的年金制度
 - ① 厚生年金に加入
 - ② 国民年金に加入
 - ③ 加入していない
 - ④ わからない
 - ⑤ その他()

(6) 審査・指導問題	
<p>問31 就業規則はありますか</p> <p>①ある ②ない</p> <p>問32 給与規定はありますか</p> <p>①ある ②ない</p> <p>問33 職員の安定雇用のために苦労や努力がされていること【複数回答可】</p> <p>①給与・諸手当の改善 ②健康保険や厚生年金の加入 ③休暇取得のしやすい環境整備 ④就業規則や給与・退職金規定の整備 ⑤福利厚生の充実 ⑥超過勤務の削減 ⑦その他 ()</p> <p>問34 今後の経営対策として考えている事柄【複数回答可】</p> <p>①設備投資 ②職員の増員 ③経費節減 ④職員の資質向上 ⑤自費診療の増加 ⑥経営コンサル等との協力 ⑦患者サービス向上 ⑧新たな届出点数の検討 ⑨医療のIT化の推進 ⑩その他 ()</p>	<p>問35 過去1年以内に「減点」の経験がありますか</p> <p>1) 支払基金 ①ある (付問35-1へ) ②ない ③わからない ④国保連</p> <p>2) 国保連 ①ある (付問35-1へ) ②ない ③わからない</p> <p>付問35-1 上記設問に「①ある」とされた先生にお聞きします。「減点」の件数(年間)をお教えください</p> <p>①10件未満 ②10～29件 ③30～49件 ④50件以上 ⑤わからない</p> <p>問36 過去5年以内に個別指導を受けたことかありますか【複数回答可】</p> <p>①新規個別指導を受けたことがある ②通常個別指導を受けたことがある ③集団的個別指導を受けたことがある ④受けていない</p> <p>問37 保険医協会の審査・指導対策で今後、どのような活動を求めますか【複数回答可】</p> <p>①相談活動 ②審査・指導対策の講習会 ③審査・指導関連の書籍利用 ④審査・指導関連の情報提供 ⑤審査機関、厚労省等への申入れ活動 ⑥その他 ()</p>

8

(7) 医薬品問題	
<p>問38 院内処方又は院外処方のいずれですか(注射薬以外)</p> <p>①主に院内処方 ②主に院外処方 ③院内処方のみ ④院外処方のみ</p> <p>問39 生活習慣病患者に対する処方日数(内服薬)の典型例について、以下からお選びください</p> <p>①2週(14日) ②4週(28～30日) ③8週(56～60日) ④その他 ()</p> <p>問40 リフィル処方箋を発行していますか</p> <p>①発行している ②発行していない(→付問40-1へ)</p> <p>付問40-1 上記設問に「②発行していません」とされた先生にお聞きします。今後リフィル処方箋を発行する予定はありますか</p> <p>①発行の予定あり ②発行の予定なし ③わからない</p> <p>問41 医薬品不足により、診療に影響を及ぼしていますか</p> <p>①診療に支障をきたしている ②診療に影響はない ③わからない</p>	<p style="background-color: #cccccc; text-align: center;">(8) 医療保険制度、社会保障費</p> <p>問42 国民皆保険制度の今後についてどのようにお考えですか</p> <p>①今後も存続すべきである ②縮小してもやむを得ない ③廃止すべきである ④わからない ⑤その他 ()</p> <p>問43 選定療養(保険導入を前提としないう、例外的に認められた混合診療)が今後拡大していくこととする動きについてどのようにお考えですか</p> <p>①大いに賛成 ②どちらかといえば賛成 ③どちらかといえば反対 ④絶対反対 ⑤どちらでもない</p> <p>問44 混合診療の拡大についてどのようにお考えですか</p> <p>①大いに賛成 ②どちらかといえば賛成 ③どちらかといえば反対 ④絶対反対 ⑤どちらでもない</p>

9

(9) 診療報酬改定

問45 2024年度診療報酬改定についてどのように感じておられますか

- ①満足
- ②やや満足
- ③やや不満
- ④大いに不満
- ⑤どちらともいえない
- ⑥わからない

(10) 医療DX

問46 電子カルテを導入されていますか

- ①導入している
- ②導入していない (→付問46-1へ)

付問46-1 上記設問に「②導入していない」とされた先生にお聞きします。今後導入の予定はありますか

- ①導入の予定あり
- ②導入の予定なし
- ③わからない

問47 電子処方箋を導入されていますか

- ①導入している
- ②導入していない (→付問47-1へ)

付問47-1 上記設問に「②導入していない」とされた先生にお聞きします。今後導入の予定はありますか

- ①導入の予定あり
- ②導入の予定なし
- ③わからない

問48 オンライン診療を実施されていますか

- ①実施している
- ②実施していない (→付問48-1へ)

付問48-1 上記設問に「②実施していません」とされた先生にお聞きします。今後実施の予定はありますか

- ①実施の予定あり
- ②実施の予定なし
- ③わからない

(11) 保険医協会の共済制度について

問49 保険医年金の加入について

- ①加入している (→付問49-1へ)
- ②加入していない (→付問49-2へ)

付問49-1 上記設問に「①加入している」とされた先生にお聞きします。加入している理由をお選びください [複数回答可]

- ①他制度に比べ利回りがよい
- ②自在性 (解約・中断・減額が自由) がある
- ③加入中は非課税
- ④万一の場合、遺族が全額受け取れる
- ⑤加入者が多い
- ⑥公的年金だけでは不安
- ⑦安全性が高い
- ⑧その他 ()

付問49-2 上記設問に「②加入していない」とされた先生にお聞きします。加入しない理由をお選びください [複数回答可]

- ①余裕がない
- ②受託生保の経営が不安
- ③利回りが低い
- ④医師年金に加入している
- ⑤他の金融商品を利用している
- ⑥その他 ()

問50 保険医休業保障共済保険の加入について

- ①加入している (→付問50-1へ)
- ②加入していない (→付問50-2へ)

付問50-1 上記設問に「①加入している」とされた先生にお聞きします。加入している理由をお選びください [複数回答可]

- ①加入時から掛金が上がらない
- ②脱退給付金や申意給付金が出る
- ③加入者が多い
- ④公的保障が不十分だから
- ⑤その他 ()

付問50-2 上記設問に「②加入していない」とされた先生にお聞きします。加入しない理由をお選びください [複数回答可]

- ①告知があり加入できない
- ②損保商品 (所得補償) に加入している
- ③生保商品 (医療・疾病保険) に加入している
- ④余裕がない
- ⑤掛金が経費にならない
- ⑥その他 ()

(12) 保険医協会の諸事業について

問51 今後の取り組みの参考にさせていただくために、
保険医協会の諸事業について先生の評価をお願いします。

1. 協会の運動 (厚労省や自治体との交渉、診療報酬改善や保険証存続を
求める署名活動など)

1) 協会の運動	① 非常に評価する	② 評価する	③ どちらとも いえない	④ 評価しない	⑤ わからない
2) 医療改善に 対する取り組み	① 非常に 評価する	② 評価する	③ どちらとも いえない	④ 評価しない	⑤ わからない
3) 医薬品不足問 題に対する取 り組み	① 非常に 評価する	② 評価する	③ どちらとも いえない	④ 評価しない	⑤ わからない
4) マスコミ対策	① 非常に 評価する	② 評価する	③ どちらとも いえない	④ 評価しない	⑤ わからない
5) 反核、平和の 取り組み	① 非常に 評価する	② 評価する	③ どちらとも いえない	④ 評価しない	⑤ わからない

2. 事業活動

6) 協会の事業 活動	① 頻繁に利用	② ある程度 利用	③ あまり 利用して いない	④ 全く利用 していない	⑤ 過去利用し ていたが、 今は利用 していない	⑥ 事業内容を 知らない
7) 審査対策	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
8) 指導対策	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
9) 診療報酬の 問い合わせ	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
10) 診療報酬 連書籍 (保 険診療の手 引など)	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
11) 学術研究	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	④ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない

12) 支部・地区 活動	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
13) 税務・経営・ 雇用対策	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
14) 閉院、 継承相談	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
15) 保険医新聞	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
16) 保険医雑誌	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
17) SNSや ホームページ による 情報提供	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない
18) 文化部活動	① とても役立つ	② ある程度 役立つ	③ あまり 役に立 たない	④ 全く役に 立たない	⑤ 利用してい ないので、 わからない	⑥ 事業内容を 知らない

問52 今後、取り組んでほしい新たな事業がありましたら、ご記入ください。

[]

(13) 政党支持について

問53 ご自身が考える医療政策が
一番近い政党はどこですか

- ① 自由民主党
- ② 立憲民主党
- ③ 日本維新の会
- ④ 公明党
- ⑤ 国民民主党
- ⑥ 日本共産党
- ⑦ れいわ新選組
- ⑧ 参政党
- ⑨ 社民党
- ⑩ 日本保守党
- ⑪ 支持政党なし
- ⑫ 答えたくない
- ⑬ その他 ()

問54 支持政党はどこですか

- ① 自由民主党
- ② 立憲民主党
- ③ 日本維新の会
- ④ 公明党
- ⑤ 国民民主党
- ⑥ 日本共産党
- ⑦ れいわ新選組
- ⑧ 参政党
- ⑨ 社民党
- ⑩ 日本保守党
- ⑪ 支持政党なし
- ⑫ 答えたくない
- ⑬ その他 ()

付録 2

集計表（全調査項目）

区分	件数	%
選択肢		
紙の調査票	498	57.8
WEB 調査票	363	42.2
合計	861	100.0

問1 性別	件数	%
選択肢		
男性	740	85.9
女性	114	13.2
回答しない	6	0.7
無回答	1	0.1
合計	861	100.0

問2 年齢	件数	%
選択肢		
20代	-	-
30代	26	3.0
40代	99	11.5
50代	204	23.7
60代	314	36.5
70代	184	21.4
80代以上	33	3.8
無回答	1	0.1
合計	861	100.0

問3 主な診療科目(1つのみ)	件数	%
選択肢		
内科	416	48.3
精神・神経科	42	4.9
小児科	44	5.1
外科	28	3.3
整形外科	91	10.6
皮膚科	40	4.6
泌尿器科	20	2.3
産婦人科	19	2.2
眼科	44	5.1
耳鼻咽喉科	55	6.4
その他	45	5.2
無回答	17	2.0
合計	861	100.0

問4 院所形態	件数	%
選択肢		
無床診療所	845	98.1
有床診療所	13	1.5
無回答	3	0.3
合計	861	100.0

問5 院所の所在地	件数	%
選択肢		
大阪市内	313	36.4
北大阪	329	38.2
南大阪	214	24.9
その他	4	0.5
無回答	1	0.1
合計	861	100.0

問6 院所の建物	件数	%
選択肢		
戸建て	412	47.9
ビルテナント(医療モール)	134	15.6
ビルテナント(単独ビル診)	247	28.7
マンションの一室	49	5.7
その他	18	2.1
無回答	1	0.1
合計	861	100.0

問7 開業年数	件数	%
選択肢		
5年未満	133	15.4
5～9年	97	11.3
10～14年	77	8.9
15～19年	110	12.8
20～29年	230	26.7
30年以上	213	24.7
無回答	1	0.1
合計	861	100.0

問8 診療所を開業した際は「新規開業」でしたか、それとも「承継開業」でしたか	件数	%
選択肢		
新規開業	574	66.7
承継開業(親族内承継)	204	23.7
承継開業(第三者承継)	74	8.6
その他	4	0.5
無回答	5	0.6
合計	861	100.0

問9 今後、診療所を承継する予定はありますか	件数	%
選択肢		
予定あり(親族内承継)	144	16.8
予定あり(第三者承継)	52	6.0
予定なし	318	36.9
わからない	328	38.1
その他	10	1.2
無回答	9	1.0
合計	861	100.0

問10 常勤医師数

選択肢	件数	%
0人	5	0.6
1人	710	82.5
2人	104	12.1
3人	18	2.1
4人	8	0.9
5人	2	0.2
6人	1	0.1
7人	1	0.1
8人	1	0.1
9人以上	1	0.1
無回答	10	1.2
合計	861	100.0

問10 非常勤医師数

選択肢	件数	%
0人	391	45.4
1人	127	14.8
2人	49	5.7
3人	29	3.4
4人	20	2.3
5人	17	2.0
6人	3	0.3
7人	5	0.6
8人	5	0.6
9人	3	0.3
10人	5	0.6
11人	1	0.1
12人	-	-
13人以上	7	0.8
無回答	199	23.1
合計	861	100.0

問11 診療所の運営形態

選択肢	件数	%
個人	418	48.5
医療法人	426	49.5
その他	9	1.0
無回答	8	0.9
合計	861	100.0

付問11-1 開業して約何年目で法人化しましたか

選択肢	件数	%
開業時から	76	17.8
5年未満	154	36.2
5～9年	62	14.6
10～14年	27	6.3
15～19年	21	4.9
20年以上	61	14.3
わからない	20	4.7
無回答	5	1.2
合計	426	100.0

問12 診療所(開業医)をやめようと考えたことはありませんか

選択肢	件数	%
ある	285	33.1
ない	541	62.8
回答しない	27	3.1
無回答	8	0.9
合計	861	100.0

付問12-1 その理由は何か【複数回答可】

選択肢	件数	%
経営難	111	38.9
競争が多い	140	49.1
患者減	90	31.6
高齢・体力の限界	127	44.6
医療DXIについていけない	123	43.2
これ以上の設備投資が困難	100	35.1
他にしたいことがある	34	11.9
その他	26	9.1
無回答	2	0.7
合計	285	100.0

問13 医療情報はどこから入手していますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
医師会	645	74.9
保険医協会	623	72.4
学会	454	52.7
MIRなど製薬企業	468	54.4
業界紙	123	14.3
医師向け情報サイト(M3等)	404	46.9
他の医師、医療従事者との情報交換	428	49.7
その他	29	3.4
無回答	8	0.9
合計	861	100.0

付問13-1 上記設問で回答したもののうち最も利用している情報入手先を1つだけお選びください

選択肢	件数	%
医師会	271	31.8
保険医協会	125	14.7
学会	86	10.1
MIRなど製薬企業	78	9.1
業界紙	10	1.2
医師向け情報サイト(M3等)	133	15.6
他の医師、医療従事者との情報交換	101	11.8
その他	21	2.5
無回答	28	3.3
合計	853	100.0

問14 普段どのようなSNSを利用していますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
LINE	679	78.9
YouTube	467	54.2
X(旧twitter)	131	15.2
Instagram	218	25.3
TikTok	32	3.7
Facebook	213	24.7
その他	69	8.0
無回答	38	4.4
合計	861	100.0

付問14-1 上記設問で回答したもののうち最も利用しているSNSを1つだけお選びください

選択肢	件数	%
LINE	494	60.0
YouTube	138	16.8
X(旧twitter)	25	3.0
Instagram	28	3.4
TikTok	1	0.1
Facebook	49	6.0
その他	32	3.9
無回答	56	6.8
合計	823	100.0

問15 1日の平均外来患者数(全日診療の場合)

選択肢	件数	%
10人未満	35	4.1
10~29人	155	18.0
30~49人	252	29.3
50~74人	195	22.6
75~99人	107	12.4
100~149人	74	8.6
150~199人	23	2.7
200~249人	3	0.3
250~299人	4	0.5
300人以上	4	0.5
わからない	2	0.2
無回答	7	0.8
合計	861	100.0

問16 先生自身の1週間の総労働時間(診療以外の労働時間も含む)は週当たりどれぐらいですか

選択肢	件数	%
30時間未満	106	12.3
30~39時間	231	26.8
40~49時間	217	25.2
50~59時間	129	15.0
60時間以上	168	19.5
無回答	10	1.2
合計	861	100.0

問17 1週間の休診日数(日曜も含み、午前・午後を各半日として計算してください)

選択肢	件数	%
なし	7	0.8
0.5日	7	0.8
1日	49	5.7
1.5日	95	11.0
2日	315	36.6
2.5日	259	30.1
3日	57	6.6
3.5日	14	1.6
4日	19	2.2
4.5日	12	1.4
5日以上	20	2.3
無回答	7	0.8
合計	861	100.0

問18 全日の休診日をいずれの曜日に設定されていますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
月曜日	21	2.4
火曜日	28	3.3
水曜日	147	17.1
木曜日	217	25.2
金曜日	15	1.7
土曜日	65	7.5
日曜・祝日	756	87.8
無回答	17	2.0
合計	861	100.0

問19 他の医療機関で短時間勤務(非常勤)をしていますか

選択肢	件数	%
している	198	23.0
していない	658	76.4
無回答	5	0.6
合計	861	100.0

付問19-1 その理由を以下からお選びください【複数回答可】

選択肢	件数	%
手術や特殊検査等、技術の発揮のため	49	24.7
地域の病院と繋がりを作るため	40	20.2
収入減を補うため	74	37.4
依頼元からの要望のため	102	51.5
その他	19	9.6
無回答	4	2.0
合計	198	100.0

問20 2025年7月診療分の診療報酬明細書(レセプト)「総件数」

選択肢	件数	%
1～99件	24	2.8
100～199件	38	4.4
200～299件	50	5.8
300～399件	64	7.4
400～499件	84	9.8
500～599件	101	11.7
600～699件	89	10.3
700～799件	68	7.9
800～899件	57	6.6
900～999件	48	5.6
1000件以上	175	20.3
わからない	32	3.7
無回答	31	3.6
合計	861	100.0

問21 コロナ禍(2020年4月～2023年3月末)以降の患者数の動向

選択肢	件数	%
患者数は戻った	153	17.8
患者数は減ったまま	381	44.3
患者数は増えた	78	9.1
影響はなかった	120	13.9
わからない	111	12.9
無回答	18	2.1
合計	861	100.0

問22 総収入に対する自由診療の割合について以下からお選びください

選択肢	件数	%
1割未満	584	67.8
1割	125	14.5
2割	47	5.5
3割	30	3.5
4割	11	1.3
5割	11	1.3
6割	1	0.1
7割	2	0.2
8割以上	5	0.6
わからない	35	4.1
無回答	10	1.2
合計	861	100.0

問23 住診や訪問診療を実施されていますか

選択肢	件数	%
実施している	384	44.6
実施していない	474	55.1
無回答	3	0.3
合計	861	100.0

付問23-1 住診や訪問診療の平均件数をお選びください(1月あたり)

選択肢	件数	%
10件未満	194	50.5
10～49件	111	28.9
50～99件	35	9.1
100件以上	39	10.2
無回答	5	1.3
合計	384	100.0

付問23-2 住診や訪問診療を実施している院所からの範囲(一番近いものをお選びください)

選択肢	件数	%
半径2km以内	183	47.7
半径3～5km以内	86	22.4
同一市区町村内	40	10.4
隣接の市区町村内	40	10.4
16km以内	32	8.3
無回答	3	0.8
合計	384	100.0

付問23-3 今後の住診や訪問診療の実施予定はありますか

選択肢	件数	%
要請があれば実施する	62	13.1
必要性は感じるが対応できない	237	50.0
必要性を感じない	100	21.1
わからない	47	9.9
無回答	28	5.9
合計	474	100.0

問24 介護保険事業を実施していますか

選択肢	件数	%
実施している	126	14.6
実施していない	685	79.6
わからない	31	3.6
無回答	19	2.2
合計	861	100.0

問25 院所の昨年度(2024年度)総収入額(水揚げ額)をお教えください

選択肢	件数	%
2000万円未満	54	6.3
2000～4000万円未満	106	12.3
4000～6000万円未満	98	11.4
6000～8000万円未満	117	13.6
8000～1億円未満	108	12.5
1億～1億3000万円未満	125	14.5
1億3000万～1億6000万円未満	45	5.2
1億6000万～1億9000万円未満	31	3.6
1億9000万～2億2000万円未満	20	2.3
2億2000万～2億5000万円未満	12	1.4
2億5000万～3億円未満	6	0.7
3億～4億円未満	9	1.0
4億円以上	19	2.2
わからない	63	7.3
無回答	48	5.6
合計	861	100.0

問26 院所の昨年度の税申告形態

選択肢	件数	%
一人医療法人	203	23.6
青色(実額)	284	33.0
青色(4段階)	29	3.4
白色(実額)	8	0.9
白色(4段階)	5	0.6
医療法人	167	19.4
わからない	123	14.3
その他	12	1.4
無回答	30	3.5
合計	861	100.0

問27 院所は消費税の課税事業者ですか

選択肢	件数	%
課税事業者である	321	37.3
非課税事業者である	377	43.8
わからない	138	16.0
無回答	25	2.9
合計	861	100.0

問28 家賃(月額)

選択肢	件数	%
0円	124	14.4
5万円未満	3	0.3
5~20万円未満	47	5.5
20~30万円未満	53	6.2
30~40万円未満	89	10.3
40~50万円未満	101	11.7
50~60万円未満	95	11.0
60~70万円未満	61	7.1
70~80万円未満	32	3.7
80~90万円未満	28	3.3
90~100万円未満	14	1.6
100万円以上	59	6.9
無回答	155	18.0
合計	861	100.0

問28 広告費用の全体額(年額)

選択肢	件数	%
0円	162	18.8
1万円未満	3	0.3
1~3万円未満	38	4.4
3~6万円未満	55	6.4
6~10万円未満	17	2.0
10~15万円未満	65	7.5
15~20万円未満	26	3.0
20~30万円未満	61	7.1
30~40万円未満	37	4.3
40~50万円未満	14	1.6
50~60万円未満	40	4.6
60~70万円未満	12	1.4
70~80万円未満	7	0.8
80~90万円未満	10	1.2
90~100万円未満	3	0.3
100~110万円未満	30	3.5
110万円以上	56	6.5
無回答	225	26.1
合計	861	100.0

問29 税務経営対策活動で今後、どのような取り組みを希望されますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
記帳の仕方	64	7.4
税金の基礎知識	196	22.8
税務調査対策	200	23.2
相続・贈与対策	242	28.1
経営分析	246	28.6
医療法人の設立・運営	74	8.6
従業員の採用・教育	252	29.3
賃金問題	339	39.4
労務対策	289	33.6
医療税制・経営にかかわる情勢	320	37.2
無回答	95	11.0
合計	861	100.0

問30 1) 職員は社会保険や公的年金制度に加入していますか 医療保険に加入

選択肢	件数	%
協会けんぽ	304	35.3
市町村国保又は医師国保	343	39.8
加入していない	111	12.9
わからない	53	6.2
無回答	50	5.8
合計	861	100.0

問30 2) 職員は社会保険や公的年金制度に加入していますか 公的年金制度

選択肢	件数	%
厚生年金に加入	484	56.2
国民年金に加入	125	14.5
加入していない	101	11.7
わからない	98	11.4
その他	4	0.5
無回答	49	5.7
合計	861	100.0

問31 就業規則はありますか

選択肢	件数	%
ある	667	77.5
ない	174	20.2
無回答	20	2.3
合計	861	100.0

問32 給与規定はありますか

選択肢	件数	%
ある	611	71.0
ない	229	26.6
無回答	21	2.4
合計	861	100.0

問33 職員の安定雇用のために苦労や努力がされていること【複数回答可】

選択肢	件数	%
給与・諸手当の改善	682	79.2
健康保険や厚生年金の加入	286	33.2
休暇取得のしやすい環境整備	449	52.1
就業規則や給与・退職金規定の整備	234	27.2
福利厚生充実	259	30.1
超過勤務の削減	263	30.5
その他	32	3.7
無回答	30	3.5
合計	861	100.0

問34 今後の経営対策として考えている事柄【複数回答可】

選択肢	件数	%
設備投資	188	21.8
職員の増員	161	18.7
経費節減	472	54.8
職員の資質向上	331	38.4
自費診療の増加	170	19.7
患者サービス向上	281	32.6
経営コンサル等との協力	127	14.8
新たな届出点数の検討	205	23.8
医療のIT化の推進	37	4.3
その他	53	6.2
無回答	861	100.0

問35 1) 過去1年以内に「減点」の経験がありますか 支払基金

選択肢	件数	%
ある	755	87.7
ない	43	5.0
わからない	43	5.0
無回答	20	2.3
合計	861	100.0

問35 2) 過去1年以内に「減点」の経験がありますか 国保連

選択肢	件数	%
ある	673	78.2
ない	64	7.4
わからない	46	5.3
無回答	78	9.1
合計	861	100.0

付問35-1 「減点」の件数(年間)をお教えください

選択肢	件数	%
10件未満	306	36.3
10～29件	238	28.2
30～49件	66	7.8
50件以上	94	11.1
わからない	58	6.9
無回答	82	9.7
合計	844	100.0

問36 過去5年以内に個別指導を受けたことがありますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
新規個別指導を受けたことがある	108	12.5
通常個別指導を受けたことがある	7	0.8
集団個別指導を受けたことがある	109	12.7
受けていない	616	71.5
無回答	25	2.9
合計	861	100.0

問37 保険医協会の審査・指導対策で今後、どのような活動を求めますか【複数回答可】

選択肢	件数	%
相談活動	430	49.9
審査・指導対策の講習会	308	35.8
審査・指導関連の書籍利用	72	8.4
審査・指導関連の情報提供	494	57.4
審査機関、厚労省等への申入れ活動	288	33.4
その他	16	1.9
無回答	67	7.8
合計	861	100.0

問38 院内処方又は院外処方いずれですか(注射薬以外)

選択肢	件数	%
主に院内処方	206	23.9
主に院外処方	287	33.3
院内処方のみ	32	3.7
院外処方のみ	325	37.7
無回答	11	1.3
合計	861	100.0

問39 生活習慣病患者者に対する処方日数(内服薬)の典型例について、以下からお選びください

選択肢	件数	%
2週(14日)	53	6.2
4週(28～30日)	559	64.9
8週(56～60日)	99	11.5
その他	61	7.1
無回答	89	10.3
合計	861	100.0

問40 リフィル処方箋を発行していますか

選択肢	件数	%
発行している	119	13.8
発行していない	722	83.9
無回答	20	2.3
合計	861	100.0

付問40-1 今後リフィル処方箋を発行する予定はありますか

選択肢	件数	%
発行の予定あり	20	2.8
発行の予定なし	527	73.0
わからない	144	19.9
無回答	31	4.3
合計	722	100.0

問41 医薬品不足により、診療に影響を及ぼしていますか

選択肢	件数	%
診療に支障をきたしている	712	82.7
診療に影響はない	102	11.8
わからない	27	3.1
無回答	20	2.3
合計	861	100.0

問42 国民皆保険制度の今後についてどのようにお考えですか

選択肢	件数	%
今後も存続すべきである	625	72.6
縮小してもやむを得ない	148	17.2
廃止すべきである	10	1.2
わからない	51	5.9
その他	8	0.9
無回答	19	2.2
合計	861	100.0

問43 選定療養(保険導入を前提としない、例外的に認められた混合診療)が今後拡大していくとどうする動きについてどのようにお考えですか

選択肢	件数	%
大いに賛成	98	11.4
どちらかといえば賛成	258	30.0
どちらかといえば反対	244	28.3
絶対に反対	82	9.5
どちらでもよい	159	18.5
無回答	20	2.3
合計	861	100.0

問44 混合診療の拡大についてどのようにお考えですか

選択肢	件数	%
大いに賛成	123	14.3
どちらかといえば賛成	278	32.3
どちらかといえば反対	229	26.6
絶対に反対	60	7.0
どちらでもよい	153	17.8
無回答	18	2.1
合計	861	100.0

問45 2024年度診療報酬改定についてどのように感じられますか

選択肢	件数	%
満足	1	0.1
やや満足	12	1.4
やや不満	167	19.4
大いに不満	573	66.6
どちらともいえない	56	6.5
わからない	39	4.5
無回答	13	1.5
合計	861	100.0

問46 電子カルテを導入されていますか

選択肢	件数	%
導入している	587	68.2
導入していない	270	31.4
無回答	4	0.5
合計	861	100.0

付問46-1 今後導入の予定はありますか

選択肢	件数	%
導入の予定あり	35	13.0
導入の予定なし	171	63.3
わからない	60	22.2
無回答	4	1.5
合計	270	100.0

問47 電子処方箋を導入されていますか

選択肢	件数	%
導入している	266	30.9
導入していない	581	67.5
無回答	14	1.6
合計	861	100.0

付問47-1 今後導入の予定はありますか

選択肢	件数	%
導入の予定あり	114	19.6
導入の予定なし	307	52.8
わからない	148	25.5
無回答	12	2.1
合計	581	100.0

問48 オンライン診療を実施されていますか

選択肢	件数	%
実施している	107	12.4
実施していない	749	87.0
無回答	5	0.6
合計	861	100.0

付問48-1 今後実施の予定はありますか

選択肢	件数	%
実施の予定あり	42	5.6
実施の予定なし	531	70.9
わからない	146	19.5
無回答	30	4.0
合計	749	100.0

問49 保険医年金の加入について

選択肢	件数	%
加入している	305	35.4
加入していない	534	62.0
無回答	22	2.6
合計	861	100.0

付問49-1 加入している理由をお選びください【複数回答可】

選択肢	件数	%
他制度に比べ利回りがよい	123	40.3
自任性(解約・中断・減額が自由)がある	119	39.0
加入中は非課税	57	18.7
万一の場合、遺族が全額受け取れる	85	27.9
加入者が多い	25	8.2
公的年金だけでは不安	153	50.2
安全性が高い	111	36.4
その他	13	4.3
無回答	13	4.3
合計	305	100.0

付問49-2 加入していない理由をお選びください【複数回答可】

選択肢	件数	%
余裕がない	93	17.5
受託生保の経営が不安	5	0.9
利回りが低い	18	3.4
医師年金に加入している	66	12.4
他の金融商品を利用している	154	29.0
その他	28	5.3
無回答	210	39.5
合計	531	100.0

問50 保険医休業保障共済保険の加入について

選択肢	件数	%
加入している	367	42.6
加入していない	468	54.4
無回答	26	3.0
合計	861	100.0

付問50-1 加入している理由をお選びください【複数回答可】

選択肢	件数	%
加入時から掛金が上がらない	159	43.3
脱退給付金や再登給付金が出る	79	21.5
加入者が多い	53	14.4
公的保障が不十分だから	175	47.7
その他	22	6.0
無回答	18	4.9
合計	367	100.0

付問50-2 加入していない理由をお選びください【複数回答可】

選択肢	件数	%
告知があり加入できない	30	6.4
特保商品(所得補償)に加入している	100	21.4
生保商品(医療・疾病保険)に加入している	116	24.8
余裕がない	121	25.9
掛金が経費にならない	59	12.6
その他	70	15.0
無回答	31	6.6
合計	468	100.0

問51 1)協会の運動

選択肢	件数	%
非常に評価する	193	22.4
評価する	473	54.9
どちらともいえない	119	13.8
評価しない	12	1.4
わからない	24	2.8
無回答	40	4.6
合計	861	100.0

問51 2)医療改悪に対する取り組み

選択肢	件数	%
非常に評価する	203	23.6
評価する	453	52.6
どちらともいえない	113	13.1
評価しない	27	3.1
わからない	23	2.7
無回答	42	4.9
合計	861	100.0

問51 3)医薬品不足問題に対する取り組み

選択肢	件数	%
非常に評価する	139	16.1
評価する	392	45.5
どちらともいえない	196	22.8
評価しない	48	5.6
わからない	40	4.6
無回答	46	5.3
合計	861	100.0

問51 4)マスコミ対策

選択肢	件数	%
非常に評価する	111	12.9
評価する	330	38.3
どちらともいえない	275	31.9
評価しない	46	5.3
わからない	55	6.4
無回答	44	5.1
合計	861	100.0

問51 5)反核・平和の取り組み

選択肢	件数	%
非常に評価する	98	11.4
評価する	283	32.9
どちらともいえない	313	36.4
評価しない	49	5.7
わからない	71	8.2
無回答	47	5.5
合計	861	100.0

問51 6)協会の事業活動

選択肢	件数	%
頻繁に利用	63	7.3
ある程度利用	400	46.5
あまり利用していない	270	31.4
全く利用していない	37	4.3
過去利用していたが、今は利用していない	10	1.2
事業内容を知らない	36	4.2
無回答	45	5.2
合計	861	100.0

問51 7)審査対策

選択肢	件数	%
とても役立つ	216	25.1
ある程度役立つ	398	46.2
あまり役に立たない	59	6.9
全く役に立たない	7	0.8
利用していないのでわからない	94	10.9
事業内容を知らない	41	4.8
無回答	46	5.3
合計	861	100.0

問51 8)指導対策

選択肢	件数	%
とても役立つ	220	25.6
ある程度役立つ	379	44.0
あまり役に立たない	60	7.0
全く役に立たない	5	0.6
利用していないのでわからない	108	12.5
事業内容を知らない	43	5.0
無回答	46	5.3
合計	861	100.0

問51 9)診療報酬の問い合わせ

選択肢	件数	%
とても役立つ	318	36.9
ある程度役立つ	322	37.4
あまり役に立たない	56	6.5
全く役に立たない	7	0.8
利用していないのでわからない	77	8.9
事業内容を知らない	34	3.9
無回答	47	5.5
合計	861	100.0

問51 10)診療報酬関連書籍(保険診療の手引など)

選択肢	件数	%
とても役立つ	274	31.8
ある程度役立つ	395	45.9
あまり役に立たない	64	7.4
全く役に立たない	5	0.6
利用していないのでわからない	54	6.3
事業内容を知らない	25	2.9
無回答	44	5.1
合計	861	100.0

問51 11)学術研究

選択肢	件数	%
とても役立つ	70	8.1
ある程度役立つ	399	46.3
あまり役に立たない	135	15.7
全く役に立たない	21	2.4
利用していないのでわからない	130	15.1
事業内容を知らない	56	6.5
無回答	50	5.8
合計	861	100.0

問51 12)支部・地区活動

選択肢	件数	%
とても役立つ	66	7.7
ある程度役立つ	318	36.9
あまり役に立たない	160	18.6
全く役に立たない	7	0.8
利用していないのでわからない	182	21.1
事業内容を知らない	71	8.2
無回答	57	6.6
合計	861	100.0

問51 13)税務・経営・雇用対策

選択肢	件数	%
とても役立つ	64	7.4
ある程度役立つ	313	36.4
あまり役に立たない	144	16.7
全く役に立たない	9	1.0
利用していないのでわからない	211	24.5
事業内容を知らない	64	7.4
無回答	56	6.5
合計	861	100.0

問51 14)開院、継承相談

選択肢	件数	%
とても役立つ	50	5.8
ある程度役立つ	229	26.6
あまり役に立たない	147	17.1
全く役に立たない	10	1.2
利用していないのでわからない	294	34.1
事業内容を知らない	74	8.6
無回答	57	6.6
合計	861	100.0

問51 15) 保険医新聞

選択肢	件数	%
とても役立つ	136	15.8
ある程度役立つ	437	50.8
あまり役に立たない	143	16.6
全く役に立たない	25	2.9
利用していないのでわからない	44	5.1
事業内容を知らない	24	2.8
無回答	52	6.0
合計	861	100.0

問51 16) 保険医雑誌

選択肢	件数	%
とても役立つ	115	13.4
ある程度役立つ	453	52.6
あまり役に立たない	154	17.9
全く役に立たない	22	2.6
利用していないのでわからない	43	5.0
事業内容を知らない	22	2.6
無回答	52	6.0
合計	861	100.0

問51 17) SNS やホームページによる情報提供

選択肢	件数	%
とても役立つ	39	4.5
ある程度役立つ	262	30.4
あまり役に立たない	171	19.9
全く役に立たない	17	2.0
利用していないのでわからない	229	26.6
事業内容を知らない	84	9.8
無回答	59	6.9
合計	861	100.0

問51 18) 文化部活動

選択肢	件数	%
とても役立つ	49	5.7
ある程度役立つ	243	28.2
あまり役に立たない	165	19.2
全く役に立たない	25	2.9
利用していないのでわからない	248	28.8
事業内容を知らない	73	8.5
無回答	58	6.7
合計	861	100.0

問53 ご自身が考える医療政策が一番近い政党はどこですか

選択肢	件数	%
自由民主党	125	14.5
立憲民主党	33	3.8
日本維新の会	29	3.4
公明党	4	0.5
国民民主党	24	2.8
日本共産党	64	7.4
れいわ新選組	15	1.7
参政党	19	2.2
社民党	5	0.6
日本保守党	15	1.7
支持政党なし	258	30.0
答えたくない	113	13.1
その他	21	2.4
無回答	136	15.8
合計	861	100.0

問54 支持政党はどこですか

選択肢	件数	%
自由民主党	119	13.8
立憲民主党	22	2.6
日本維新の会	34	3.9
公明党	2	0.2
国民民主党	19	2.2
日本共産党	34	3.9
れいわ新選組	13	1.5
参政党	26	3.0
社民党	1	0.1
日本保守党	22	2.6
支持政党なし	297	34.5
答えたくない	119	13.8
その他	21	2.4
無回答	132	15.3
合計	861	100.0

